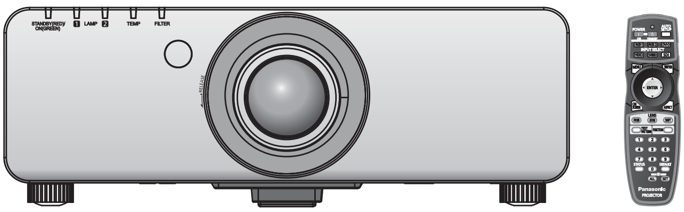
Panasonic

取扱説明書

DLP™ 方式プロジェクター　業務用

品番 PT-DZ6710
PT-DZ6700
PT-DW6300
PT-D6000
PT-D5000



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ この取扱説明書は、上記品番末尾のアルファベットの有無に関わらず共用です。
- L なし：レンズ付き、L あり：レンズ別売り

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用の前に「安全上のご注意」（4 ～ 7 ページ）を必ずお読みください。

■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

■ 機能・操作の詳しい情報は付属 CD 内の「機能説明書」（PDF ファイル）をご覧ください。

保証書別添付

TQBH0210-4

もくじ

■投写するまでの手順

詳しくは各ページをご覧ください。

1. 本機を設置する
（☞15 ページ）

↓

2. 投写レンズを取り付ける
（☞16 ページ）

↓

3. 本機と外部機器を接続する
（『機能説明書』（付属 CD）をご覧ください）

↓

4. 電源コードを接続する
（☞17 ページ）

↓

5. 電源を入れる
（☞18 ページ）

↓

6. 投写する映像を選択する
（☞20 ページ）

↓

7. 映像の映り具合を調整する
（☞20 ページ）

安全上のご注意

はじめに

準備

基本的な使い方

もくじ（つづき）

調整と設定

点検と部品交換

その他

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。
⚠	気をつけていただく内容です。

⚠警告

電源について

異常・故障時には直ちに使用を中止する

■ 異常があったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

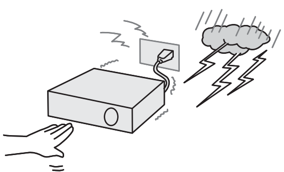
- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき。
- 落下などで外装ケースが破損したとき。
- 煙や異臭、異音が発生したとき。

そのまま使用を続けると、火災・感電の原因になります。

▶本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
▶異常の際、電源プラグをすぐに抜けるように、コンセントを本機の近くに取り付けるか、配線用遮断装置を容易に手が届く位置に設置してください。
▶使用を中止し、電源プラグを抜いたあと、販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴り出したら、本機や電源プラグに触れない

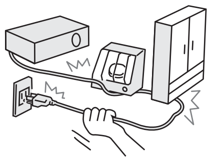
接触禁止



感電の原因になります。

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

禁止



- 加工したり、傷つけたりしない。
- 引っ張ったり、ねじったり、無理に曲げたり、束ねたりしない。
- 熱器具に近づけたり、重い物を載せたりしない。

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

▶コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



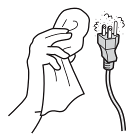
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ 付属の電源コード以外は使用しない

禁止

付属の電源コードを使い、コンセント側でアースを取らないと感電の原因になります。

■ 電源プラグのほこり等は定期的にとる

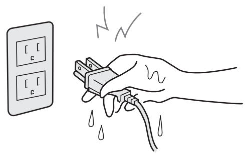


電源プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

▶電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
▶長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

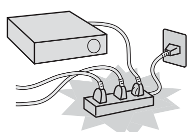
■ ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止



感電の原因になります。

■ 定格 15 A・交流 100 V のコンセントを単独で使う



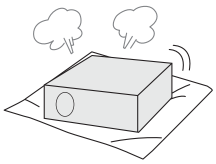
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。
延長コードも定格 15 A のものを単独でお使いください。

警告

ご使用・設置について

■ 放熱を妨げない

禁止



● 布や紙などの上に置かない。（吸気孔に吸着する場合があります。）
● 押し入れ、本棚など風通しが悪く狭い所に押し込まない。

内部が高温になり、火災の原因になることがあります。

▶吸排気を妨げないよう、周辺の壁や物から 50 cm 以上離して設置してください。

■ 排気孔には手や物を近づけない

禁止

● 手や顔を近づけない。
● 熱に弱いものを近くに置かない。
● 指を入れるとけがの原因になります。

排気孔からは熱風が出ているため、やけどや変形の原因になります。

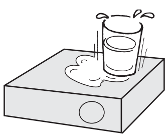
■ カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しない

禁止

内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。

■ 水などの液体をかけたり、ぬらしたりしない

禁止



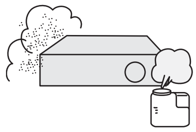
● 機器の上に、水などの液体の入った容器を置かない。

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

▶水などの液体が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。
▶特にお子様にはご注意ください。

■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない

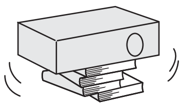
禁止



火災・感電の原因になることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置の場合に落下するおそれがあります。

■ 荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない

禁止



落下などによる本機の破損・変形や、大きな事故・けがの原因になります。

■ 使用中は投写レンズをのぞかない

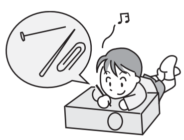
禁止

投写レンズからは強い光が出ます。中を直接のぞくと、目を痛める原因になります。

▶使用中に本機から離れる場合は主電源を切ってください。
▶特にお子様にはご注意ください。

■ 異物を入れない

禁止



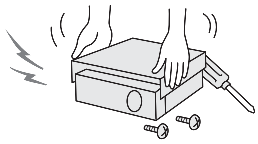
● 内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。

ショートによる火災・感電の原因になります。

▶特にお子様にはご注意ください。

■ 分解したり、改造したりしない

分解禁止



内部には電圧の高い部分があるため、火災・感電の原因になります。

警告	
	高圧注意 サービスマン以外の方はケースをあけないでください。 内部には高電圧部分が数多くあり万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

▶内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■ 付属のレンズカバーを取り付けたまま投写しない

禁止

火災の原因になることがあります。

■ 天井取り付け（天つり）などの設置工事は、専門の技術者または販売店に依頼する

工事の不備があると、事故の原因になります。

■ 当社で指定した天つり金具を使用する

天つり金具に不備があると、事故の原因になります。

▶付属のワイヤーで落下防止の処置を行ってください。

⚠警告

付属品・消耗品について

■ **ランプユニット交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く**

電源プラグを抜く

電源プラグを抜かずに交換作業を行うと、感電や破裂の原因になります。

■ **ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1時間以上待ってから）行う**

カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。

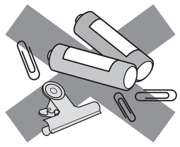
■ **ランプユニットを分解しない**

禁止

ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。

■ **電池は誤った使い方をしない**

禁止



- 指定された電池以外は使用しない。
- 乾電池は充電しない。
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない。
- ＋と－を針金などで接続しない。
- ＋と－を逆に入れない。
- ネックレスやヘアピンなど、金属が使用されているものといっしょに保管しない。
- 新・旧の電池や違う種類の電池を混ぜて使わない。
- マンガン乾電池を使用する。
- 被覆のはがれた電池は使わない。（電池には安全のために被覆がかぶせてあります。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。）

液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■ **電池の液がもれたときは、素手でさわらない**

禁止



- 液が目に入ったら目をこすらない。

失明のおそれや、液が身体や衣服に付着した場合、皮膚の炎症やけがの原因になります。

▶すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

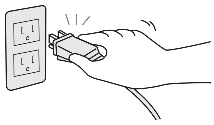
■ **使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す**

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠注意

電源について

■ **電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く**



コードを引っ張るとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因になることがあります。

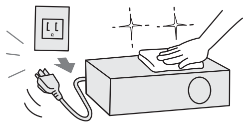
■ **長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く**

電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。

■ **お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く**

電源プラグを抜く



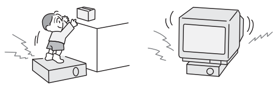
感電の原因になることがあります。

⚠注意

ご使用・設置について

■ 本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

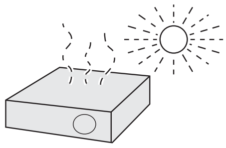
禁止



バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。また、本機の破損や変形の原因になることがあります。

■ 異常に温度が高くなる所に置かない

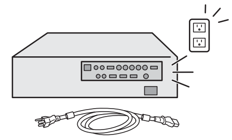
禁止



外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

▶直射日光の当たる所や、熱器具などの近くには、設置・保管をしないでください。

■ 移動させる場合は、必ず接続線を外す



コードの破損などにより、火災・感電の原因になることがあります。

■ レンズシフト動作中は、レンズ周辺の開口部に手を入れない

禁止

手をはさみ、けがの原因になることがあります。

付属品・消耗品について

■ 長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

■ ランプが破裂したときは、さわったり、顔を近づけたりしない

禁止

散乱したガラス片で、けがをしたり、破裂により発生したガスを吸い込んでしまったりするおそれがあります。

▶直ちに換気を行ってください。
▶万が一吸い込んだり、目や口に入ったりした場合は、直ちに医師にご相談ください。
▶破裂により発生したガスは、蛍光灯程度の水銀を含有しています。
▶販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。

■ 古いランプユニットは使用しない

禁止

● 使用時間を超えたランプユニットは使用しない。

そのまま使用を続けると、破裂する場合があります。

▶ランプユニットは消耗部品です。

お手入れについて

■ 1 年に 1 度は、内部の清掃を販売店に依頼する

本機の内部にほこりがたまったままで使用を続けると、火災の原因になることがあります。

▶特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。
▶内部清掃費用については販売店にご相談ください。

ご使用になる前に

運搬上の留意点

- 運搬の際は、必ず付属のレンズカバーを取り付けてください。
- 投写レンズは、振動や衝撃に対して影響を受けやすい部品です。運搬時は必ずレンズを取り外してください。
- 運搬の際は、本機の底面を持つようにしてください。
- アジャスター脚を伸ばした状態で運搬しないでください。アジャスター脚が破損するおそれがあります。

設置に関する留意点

■投写レンズの取り付け後は、必ず投写レンズカバーを取り付けてください

内部にほこりがたまり、故障の原因になります。

■屋外に設置しないでください

本機は室内でご使用ください。

■以下の場所には設置しないでください

- 車両・船舶など、振動や衝撃が加わる場所：内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- エアコンの吹き出し口や照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなど、温度変化が激しい場所（「使用環境条件」☞37、39 ページ）：ランプの寿命などに影響を及ぼすおそれや、熱により本体が変形し、故障の原因になることがあります。
- 高圧電線や動力源の近く：妨害を受ける場合があります。

■レンズフォーカスに関して

高輝度プロジェクターのレンズは、光源からの光による熱の影響で、電源を入れた直後はフォーカスが安定しません。レンズフォーカスの調整は、映像を映した状態で 30 分以上待ってから行ってください。

■海抜 1 400 m 以上～ 2 700 m 以下でご使用の際は、「高地モード※」を必ず「オン」に設定してください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■海抜 2 700 m 以上の場所に設置しないでください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■左右に傾けて使用しないでください

水平から垂直方向に 15°を超える角度に傾けた状態で使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■垂直方向に 30°を超える角度に傾けて本機を設置して使用する場合は、「ファン制御※」を設定してください

未設定のまま使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

※設定の詳細については、『機能説明書』（付属 CD）をご覧ください。

セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。
（詳しくは、『機能説明書』（付属 CD）の「セキュリティ」についてをご覧ください。）

- パスワードは出来るだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどにより、安全性の確保されたネットワークでご使用ください。
- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。

使用上の留意点

■美しい映像をご覧いただくために

- スクリーン面に外光や照明などの光が入らないよう、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの環境を整えていただくと、より高いコントラストで美しい映像をご覧いただけます。
- 使用環境によっては排気孔からの熱せられた空気の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。セットの前面に自機、あるいは他機の排気が回り込むような設置がないように注意してください。
- 高輝度プロジェクターのレンズは、光源からの光による熱の影響で、電源を入れた直後はフォーカスが安定しません。映像を映した状態で 30 分以上経過すると、フォーカスが安定します。

■投写レンズ面は素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れが付着すると、それらが拡大されてスクリーンに映り、美しい映像をご覧いただくための妨げとなります。また、本機を使用しないときは、必ず付属のレンズカバーを取り付けておいてください。

■DLP チップについて

DLP チップは、非常に精密度の高い技術で製造されていますが、まれに画素の欠けや、常時点灯する画素が発生する場合があります。これらの現象は故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

■動作中に移動させたり、振動や衝撃を与えたりしないでください

内蔵されているモーターの寿命を早めるおそれがあります。

■ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。
高圧水銀ランプには下記のような特性があります。

- 使用時間にともない、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃やキズ、使用時間による劣化などにより大きな音を出して破裂したり、寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがあります。特に 22 時間以上の連続使用や、頻繁な電源の「入」/「切」の繰り返しは、寿命に大きく影響します。
- ごくまれに、投写開始後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を超えると破裂の可能性が高くなります。
  （「ランプユニットの交換時期」☞31 ページ、「ランプユニットの交換手順」☞32 ページ）
- 破裂すると、内部のガスが噴出し、煙のように見えることがあります。
- 万一に備え、あらかじめ交換用ランプをご用意ください。
- 22 時間以上の連続使用はランプの劣化を早めます。ランプリレー機能を使用することで、連続使用による劣化を軽減することができます。

廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

注意

コンピューターや外部機器に接続する際、各々の機器に付属の電源コードとシールドされた市販のケーブルを使用してください。

お掃除とお手入れ

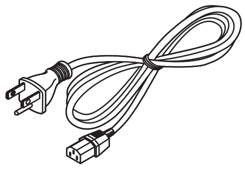
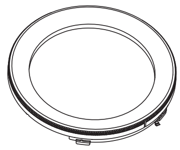
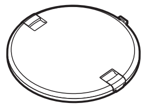
必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください

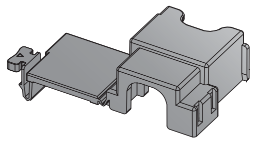
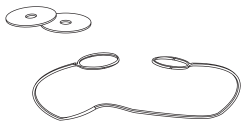
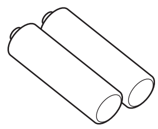
●外装ケース
外装ケースの汚れやほこりは柔らかい乾いた布でふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水またはぬるま湯にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際に、ベンジン、シンナー、アルコール等の溶剤、または台所用洗剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。使用すると外装ケースが変質したり、塗装がはげたりするおそれがあります。

●レンズのガラス部分
レンズのガラス部分に付着したゴミやほこりは、清潔な柔らかい乾いた布でふき取ってください。
- 毛羽立った布、油分・水分を含んだ布、ほこりのついた布でふかないでください。
- ガラス部分は傷つきやすい素材のため、強くこすらないでください。

付属品の確認

以下の付属品が入っていることを確認してください。<　>は個数です。

リモコン <1>（N2QAYB000371）	電源コード<1>（K2CG3FH00018）	投写レンズカバー<1>（TKPB35101A）	レンズカバー<1>（TKKL5244-1）
			（レンズ付きモデルのみ）

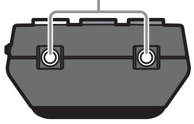
CD-ROM<1>（TQBH9013）	電源コード抜け防止カバー<1>（TTRA0184）	天つり用落下防止具<1>（TTRA0214）	リモコン用単３形乾電池<2>
		（平ワッシャー×２ ワイヤーロープ×１）	

各部の名称とはたらき

リモコン

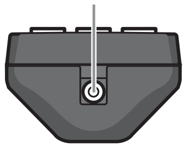
■ 天面

リモコン発信部



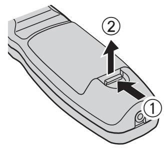
■ 底面

リモコンワイヤード端子
(☞14 ページ)

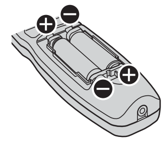


リモコンの電池の入れかた

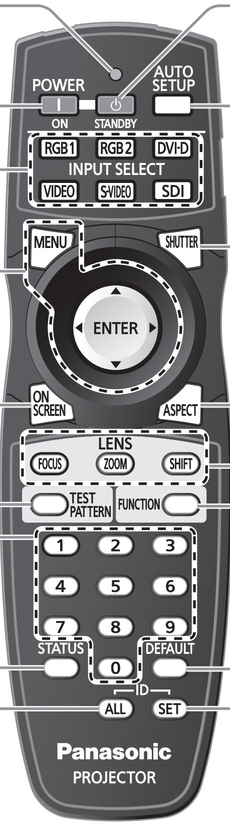
ふたを開ける



電池を入れ、ふたを閉める
(⊖側から先に入れます)



■ 正面



リモコン操作表示ランプ
リモコンボタンを押すと点滅します

本体の主電源（MAIN POWER）が「I」側でスタンバイ状態のときに、本機を投写状態にします

投写する入力信号を切り換える
(☞22 ページ)

メニュー画面操作に使用する
(☞25 ページ)

オンスクリーン表示機能をオン / オフする (☞22 ページ)

テストパターンを表示する
(☞23 ページ)

本機を複数台使用するシステムで使用する
ID 選択時には ID 番号の入力、サービスマン用のパスワード入力時にはパスワードの入力に使用する

本体の情報を表示します

本体を複数台使用するシステム時、1つのリモコンで同時制御するモードに設定します (☞14 ページ)

本体の主電源（MAIN POWER）が「I」側で投写状態のとき、本機をスタンバイ状態にする

映像を投写して、このボタンを押すと、画面表示位置が自動調整されます
自動調整中は画面に「実行中」と表示されます
(☞23 ページ)

映像を一時的に消したいときに使用する
(☞22 ページ)

映像のアスペクト比を切り換える
(☞24 ページ)

投写レンズを調整する
(☞18、20 ページ)

よく使う操作を割り当てショートカットボタンとして使用する (☞23 ページ)

サブメニューの設定内容を工場出荷状態に戻す
(☞25 ページ)

本体を複数台使用するシステム時、リモコンの ID を設定する
(☞14 ページ)

お願い :

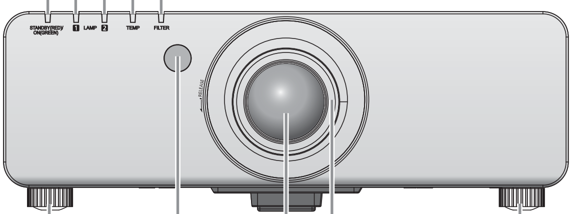
- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを分解・修理しないでください。
- リモコン受信部に蛍光灯などの強い光が当たると、操作できなくなる場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

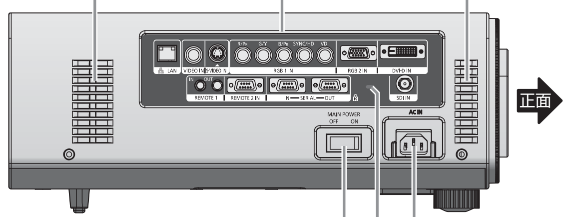
お知らせ :

- リモコンを直接本機のリモコン受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信部正面より約 30m 以内で操作してください。また、上下に± 15 度と左右に± 30 度まで操作可能です。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
  リモコンからの信号をスクリーンに反射させて本機を操作することができますが、スクリーン特性による光反射ロスにより、操作有効範囲に制限がでる場合があります。

本体

■ 前面

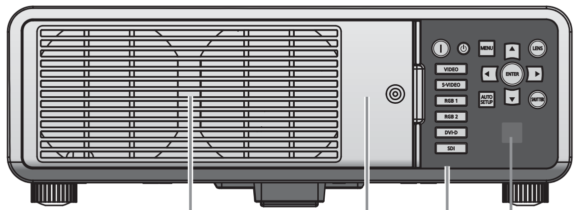


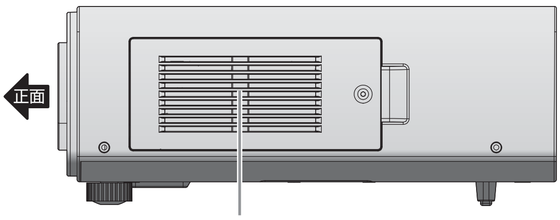


セキュリティスロット
このセキュリティスロットは、Kensington社製セキュリティケーブルに対応しています。Kensington社製セキュリティケーブルについてのお問い合わせ先は、下の通りです。

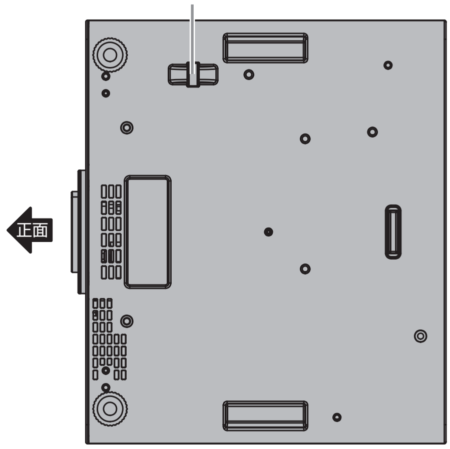
七陽商事株式会社　情報機器事業部
〒103-0007
東京都中央区日本橋浜町2-55-7 ナナヨービル
Tel：03-3663-7740
Fax：03-3669-2367
http://www.nanayojapan.co.jp/
※連絡先は変更になる場合があります。ご了承ください。

■ 後面





■ 底面



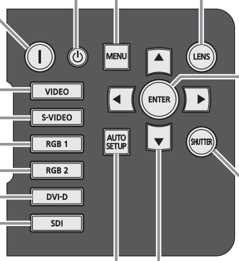
※盗難防止用にワイヤーなどを取り付けることができます。

⚠ 警告

やけどや変形の恐れあり
排気孔から熱風が出ますので、手や物を近づけない

けがや故障の恐れあり
排気孔に指や物をいれない

■ 後面操作部



電源スタンバイボタン
本体の主電源（MAIN POWER）が「I」側で投写状態のときに、本機をスタンバイ状態にします

電源入ボタン
本体の主電源（MAIN POWER）が「I」側でスタンバイ状態のときに、本機を投写状態にします

VIDEO
に入力切り換えができます

S-VIDEO
に入力切り換えができます

RGB1
に入力切り換えができます

RGB2
に入力切り換えができます

DVI-D
に入力切り換えができます

SDI
に入力切り換えができます（PT-DZ6710 のみ）

メニューボタン
メインメニューを表示したり、消したりします
サブメニューが表示されているときは１つ前の画面に戻ります
オンスクリーン表示が「切」の状態でメニューボタンを３秒以上長押しすると、オンスクリーン表示「切」を解除できます
（☞25 ページ）

レンズボタン
レンズのフォーカス、ズーム、シフト（位置）の調整をします

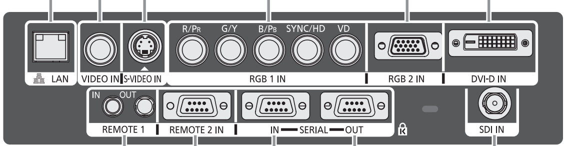
エンターボタン
メニュー画面の項目の決定や実行ができます

シャッターボタン
映像を一時的に消すことができます
（☞22 ページ）

▲▼◀▶選択ボタン
メニュー画面の項目を選択したり、設定の切り換えおよびレベルの調整ができます
また、「セキュリティ」のパスワード入力にも使用します

オートセットアップボタン
映像を投写して、このボタンを押すと画面表示位置が自動調整されます
自動調整中は画面に「実行中」と表示されます
（☞23 ページ）

■ 側面接続端子部



S-VIDEO 入力端子
Ｓビデオ信号を入力する端子です

VIDEO 入力端子
ビデオ信号を入力する端子です

LAN 端子
ネットワーク接続する端子です

リモート１入力/出力端子
本体を複数台使用するシステム時にワイヤードリモコンケーブルで連結制御ができます

リモート２入力端子
本体を外部制御回路を使用して遠隔操作ができます

RGB（YPBPR）１ 入力端子
RGB信号またはYPBPR信号を入力する端子です

RGB2入力端子
RGB信号またはYPBPR信号を入力する端子です

DVI-D入力端子
DVI-D信号を入力する端子です

SDI入力端子（PT-DZ6710 のみ）
SDI信号を入力する端子です

シリアル出力端子
シリアル入力端子に接続されている信号を出力する端子です

シリアル入力端子
パソコンを接続して本体を外部制御するためのRS-232C準拠の入力端子です

お願い :
- LAN 端子は、静電気を帯びた手（体）で触れると故障の原因になります。
  LAN 端子及び LAN ケーブルの金属部に触れないようにしてください。
- LAN は屋内の機器に接続してください。

はじめに

リモコンの使い方

リモコンの ID ナンバーを指定する

本機を複数台並べて使用する場合、それぞれの本体に個々の ID ナンバーを設定することにより、1 つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。
本体の ID ナンバーを設定したあと、同じ ID ナンバーをリモコンに指定してください。
なお、**本機の ID ナンバーは工場出荷時は「オール」に設定されていますので 1 台だけでご使用の場合は、リモコンは ID オール (ID ALL) ボタンをご使用ください。**

■設定方法

ID セット (ID SET) ボタンを押したあと、5 秒以内に、本機側で設定されている 2 けたの ID ナンバーを数字 (0 ～ 9) ボタンで設定する。
ただし、ID オール (ID ALL) ボタンを押した場合は、本機の ID ナンバー設定に関係なく制御できます。(同時制御モード)

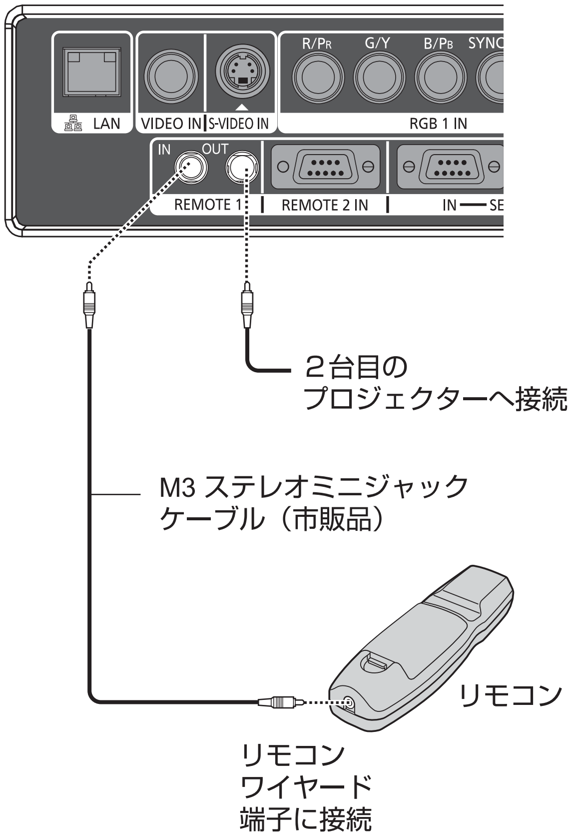
お願い :
- リモコンの ID ナンバー指定は、本機がなくても可能なため、ID セット (ID SET) ボタンは不用意に押さないでください。ID セット (ID SET) ボタンを押した場合は、5 秒以内に数字ボタンを押さないと ID セット (ID SET) ボタンを押す以前の ID ナンバーに戻ります。
- リモコンに入力された ID ナンバーの指定は、再度指定しない限り記憶しています。ただし、リモコンの電池が消耗したまま放置しておくと消去されます。乾電池を交換した場合は、同じ ID ナンバーを再度設定してください。

お知らせ :
- 本体の ID 設定は、『機能説明書』（付属 CD）の「プロジェクターセットアップ」についての「プロジェクター ID」をご覧ください。

ケーブルで本体と接続して使う

本機を複数台並べて使用するシステムで、リモート 1 入力 / 出力端子を利用して 1 つのリモコンで複数台を同時制御したい場合は、市販の M3 ステレオミニジャックケーブルを接続して制御します。また設置環境によっては、本体とリモコンの間に障害物があったり外光の影響を受けやすい場所で使用する場合などに効果的です。

接続端子部



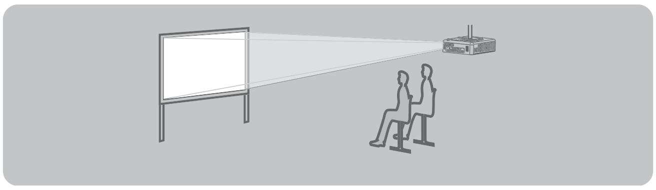
お願い :
- ケーブルは長さが 15 m 以下、2 芯シールドのものを使用してください。ケーブルの長さが 15 m を超える場合やケーブルのシールドが不十分な場合は動作しない場合があります。

設置する

投写方式

本機は、4 通りの投写方式が可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。

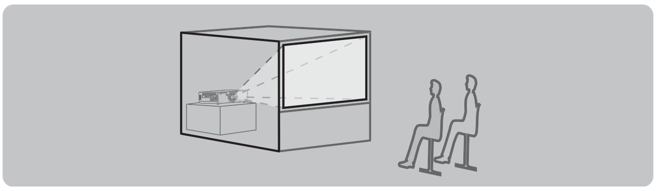
■天つり設置で前方に投写する場合



メニュー項目※	設定値
設置設定	フロント / 天つり
ファン制御	天つり設置

■床置設置で後方から投写する場合

（透過式スクリーン使用）



メニュー項目※	設定値
設置設定	リア / 床置
ファン制御	床置設置

■天つり設置で後方から投写する場合

（透過式スクリーン使用）

メニュー項目※	設定値
設置設定	リア / 天つり
ファン制御	天つり設置

■床置設置で前方に投写する場合

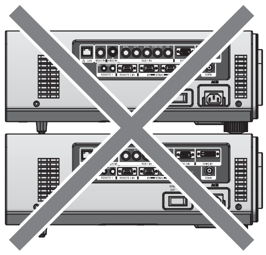
メニュー項目※	設定値
設置設定	フロント / 床置
ファン制御	床置設置

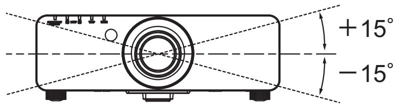
※メニュー項目の詳細については、『機能説明書』（付属 CD) の「プロジェクターセットアップ」についての「設置設定」および「ファン制御」をご覧ください。

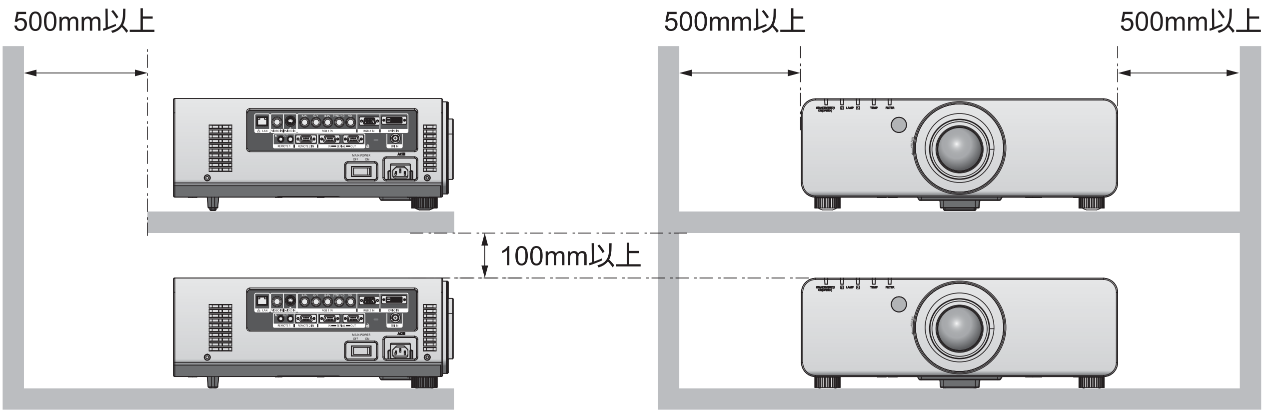
お知らせ :
- 投写関係図は、「機能説明書」（付属 CD）の「設置する」をご覧ください。

■設置上でのご注意

- 本機を積み重ねて使用しないでください。
- 水平から垂直方向に± 15˚ を超える角度に傾けた状態で使用しないでください。
- 本機の吸気孔・排気孔をふさがないでください。
- 空調の冷風や温風が、本機の吸気孔・排気孔に直接当たらないように設置をしてください。





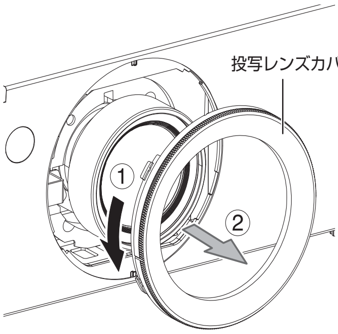


- 本機を囲われた空間で設置しないでください。
囲われた空間で設置が必要な場合は、別途空調設備、換気設備を入れてください。換気が不十分な場合、排気熱が滞留することで、本機の保護回路が働いたり、ACF ユニットの交換時期が早くなることがあります。

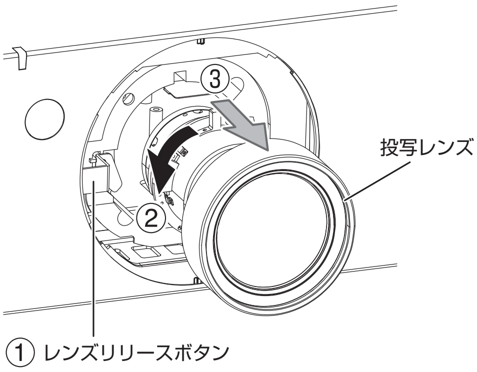
投写レンズ（別売品）の取り外し／取り付けかた

投写レンズの取り外しかた

（1）投写レンズカバーを反時計方向に回し、取り外す



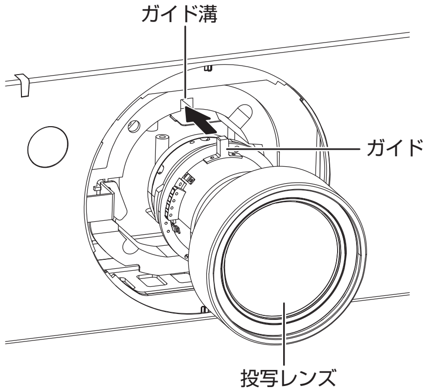
（2）レンズリリースボタンを押しながら反時計方向に投写レンズを回しきり、投写レンズを取り出す



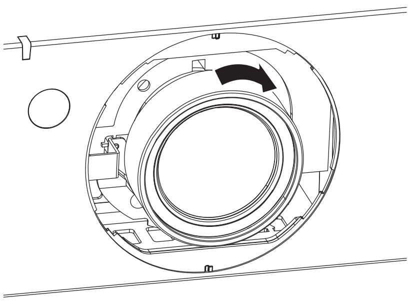
お知らせ：
- 投写レンズの交換は本機の電源を切ってから行ってください。
- 投写レンズの信号接点には指を触れないようにしてください。ほこりや汚れなどにより、接触不良の原因となることがあります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
- 取り外した投写レンズは振動や衝撃を与えないように保管してください。

投写レンズの取り付けかた

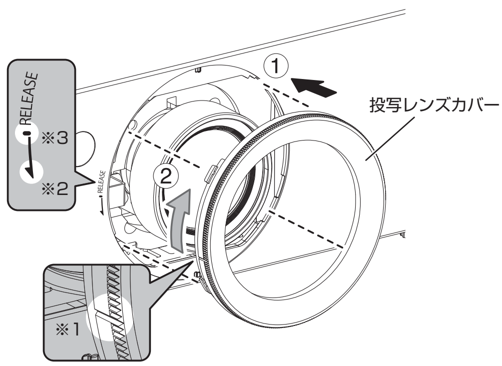
（1）投写レンズカバーを取り外し、投写レンズのガイドを本体のガイド溝に合わせて奥まで差し込む



（2）時計方向に「カチッ」と音がするまで回す



（3）投写レンズカバーの目印（※１の溝）を本体の矢印先端（※２）に合わせて取り付け、※１の溝が※３の▮印に合うまで投写レンズカバーを回し、固定する



お願い：
- 投写レンズを反時計方向に回して、抜けないことを確認してください。

準備

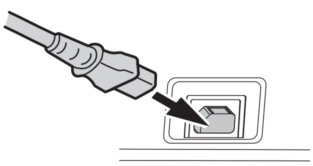
電源を入れる / 切る

電源コードを接続する

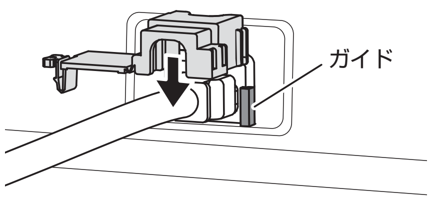
電源コードの抜けを防止するため、付属の「電源コード抜け防止カバー」で電源コードと本体を必ず固定してください。
付属の電源コードを使用し、根元まで確実に差し込んでください。

■取り付け方

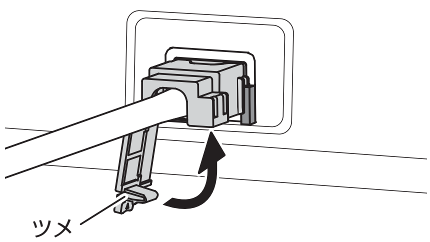
(1) 本機側面の AC 入力端子部（AC IN ～）と電源コードのコネクタの形状を確認し、向きを合わせてしっかりと奥まで差し込む



(2) 本機 AC 入力端子部の上からガイドに沿って、「電源コード抜け防止カバー」を取り付ける



(3)「電源コード抜け防止カバー」のツメがカチッと音がするまで押し込み、取り付ける

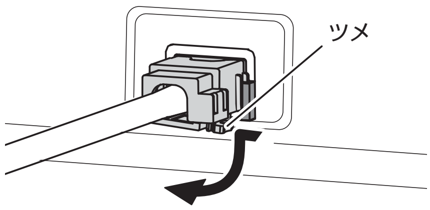


(4) 電源プラグをコンセントに差し込む

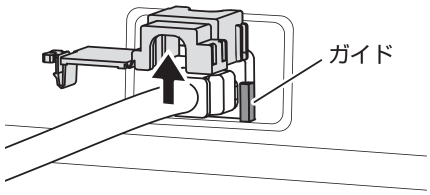
■取り外し方

(1) 本機側面の主電源スイッチ (MAIN POWER) が「オフ」（OFF）になっていることを確認し、コンセントから電源プラグを抜く

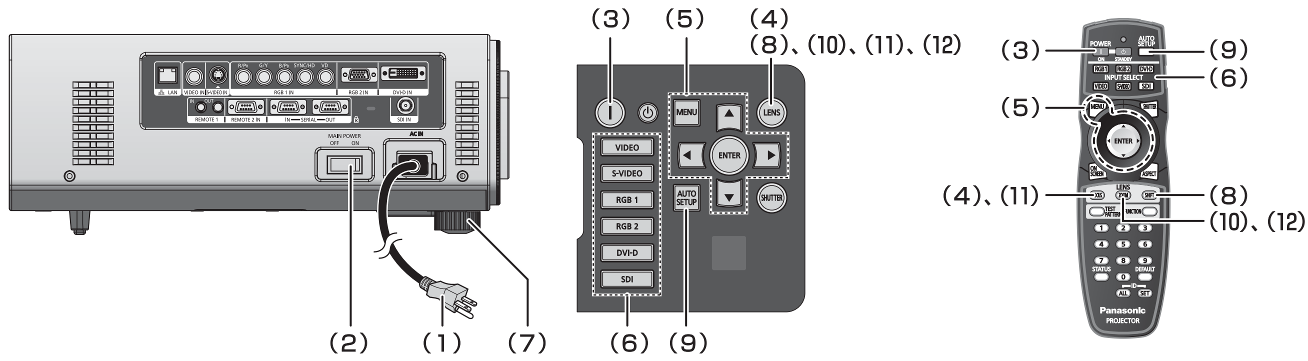
(2)「電源コード抜け防止カバー」のツメを押し下げて外す



(3)「電源コード抜け防止カバー」を本機 AC 入力端子部のガイドに沿って上に取り外す



(4) 本機の AC 入力端子部（AC IN ～）から電源コードのコネクタを抜く



電源を入れる

別売レンズをご使用の場合は、電源を入れる前に投写レンズを取り付けてください。(☞16 ページ) あらかじめレンズカバーを外してください。

(1) 電源プラグをコンセントに接続する

(AC100 V 50 Hz/60 Hz)

(2) 主電源 (MAIN POWER) スイッチの「｜」側を押し電源を入れる

「電源モニター」が赤色に点灯してスタンバイ状態になります。

(3) 電源入（｜）ボタンを押す

「電源モニター」が緑色に点灯し、しばらくすると映像が投写されます。

お知らせ :

- 0 ℃付近での電源「入」は出画までに 5 分程度のウォームアップ時間が必要な場合があります。ウォームアップ中は「温度モニター」(TEMP) が点灯します。ウォームアップが完了すると「温度モニター」(TEMP) が消灯し、映像を投写します。
- 使用環境温度が低く、ウォームアップ時間が 5 分を超える場合は異常とみなし、自動的に電源を「スタンバイ状態」にします。この場合は使用環境温度を 0 ℃以上にして、再度主電源「切」→電源「入」（ I ）の操作を行ってください。
- 『機能説明書』（付属 CD）の「プロジェクターセットアップ」についての「スタンバイモード」を「エコ」に設定している場合は「ノーマル」に設定しているときと比べて、出画までにかかる時間が約 10 秒増加することがあります。

調整・選択をする

フォーカス調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをおすすめします。

(4) フォーカス（FOCUS）ボタンを押して、画像のフォーカスをおおまかに合わせる

(5)「設置設定」と「ファン制御」で投写方式を設定する

(6) 入力切り換え（RGB1、RGB2、DVI-D、VIDEO、S-VIDEO、SDI）ボタンを押して入力信号を選択する

(SDI 入力は PT-DZ6710 のみ)

(7) 本体の前後左右の傾きを調整する

(8)「SHIFT」ボタンを押して画像の位置を調整する

(9) 入力信号が RGB 信号の場合はオートセットアップ（AUTO SETUP）ボタンを押す

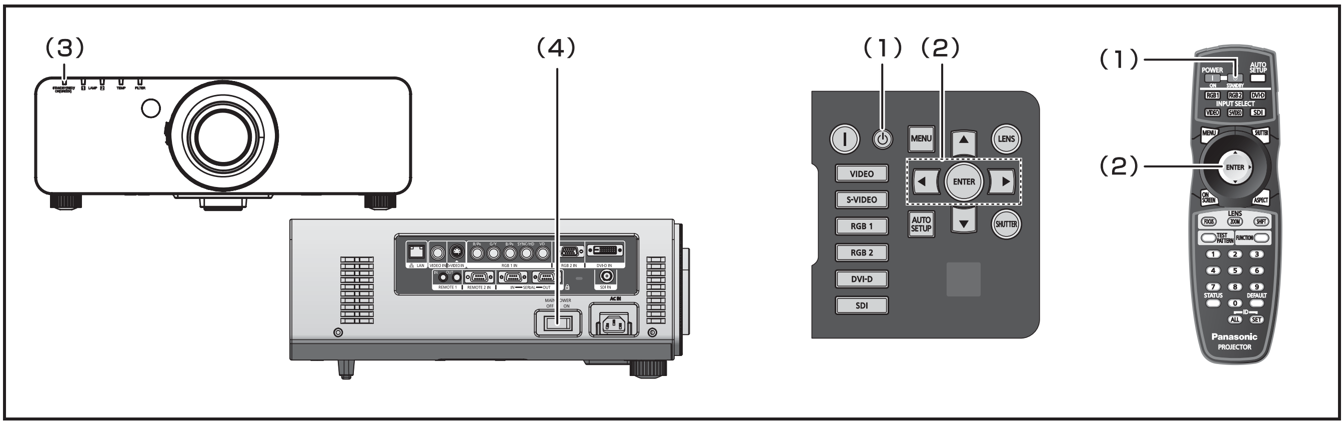
(10) ズーム（ZOOM）ボタンを押して、画像の大きさをスクリーンに合わせる

(11) 再度、フォーカス（FOCUS）ボタンでフォーカスを調整する

(12) 再度、ズーム（ZOOM）ボタンでズームを調整して画像の大きさをスクリーンに合わせる

お知らせ :

- 表示されている調整メニューが色で判別できるように、「フォーカス」のみメニューが黄色で表示されます。



電源を切る

(1) 電源スタンバイ (⏻) ボタンを押す

(2) ◀▶ ボタンで「実行」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す（または、電源スタンバイ (⏻) ボタンを再度押す）

映像の投写が停止し、本体の「電源モニター」がオレンジ色に点灯します。
(冷却ファンは回転したままです。)

(3) 本体の電源モニターが赤色に点灯 (冷却ファンが停止) するまで待つ

(4) 主電源 (MAIN POWER) スイッチの「○」側を押して電源を切る

お知らせ :
- **電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。**
  電源を切ったあとの光源ランプ冷却中に電源を入れても点灯しないことがあります。この場合は光源ランプがスタンバイ状態になってから、再度電源を入れ直してください。ランプの温度が高い状態で電源を入れるとランプの寿命を早めるおそれがあります。
- **本体の主電源「入」状態で、リモコンで電源「切」にした場合、約 8 W の電力を消費しています。(スタンバイモード「ノーマル」時)**

ダイレクトパワーオフ機能

万一、停電時や電源を切った直後に電源コードを抜いてしまっても、内部に蓄えられた電力により冷却ファンが動作し、冷却を行います。

お知らせ :
- ダイレクトパワーオフで冷却した場合、投写状態になるまで通常よりも時間がかかる場合があります。
- 冷却ファンが動作しているときは、箱や袋に入れたりしないでください。

投写する

外部機器の接続、投写レンズの取り付け（☞16 ページ）、電源コードの接続（☞17 ページ）を確認し、電源を入れる（☞18 ページ）と投写を開始します。投写する映像を選択し、映像の映り具合を調整してください。

投写する映像を選択する

映像の入力を切り換える。
「入力切換」ボタンで選択した映像が投写されます。
(☞22 ページ)

お願い :

- 接続機器や再生する DVD、ビデオテープなどによっては、正常に映像が映らない場合があります。『機能説明書』（付属 CD）の「映像調整」についての「システムセレクター」を設定してください。
- 投写するスクリーンと映像の縦横比を確認し、『機能説明書』（付属 CD）の「位置調整」についての「アスペクト」で最適な縦横比に切り換えてください。

フォーカス調整、ズーム調整、シフト調整のしかた

本機とスクリーンの位置関係が正しく設置された状態で、スクリーンに投写された映像や位置がずれている場合は、フォーカス、シフト調整してください。

■本体で操作する場合

(1) 後面操作部のレンズ（LENS）ボタンを押す

- ボタンを押すごとに「フォーカス」「ズーム」「シフト」の順に設定画面が切り換わります。

(2) それぞれの調整項目を選び、▲▼◀▶ボタンで調整する

■リモコンで操作する場合

(1) リモコンのレンズ（FOCUS、ZOOM、SHIFT）ボタンを押す

- **フォーカス（FOCUS）ボタンを押す :**
  フォーカス調整をします。
- **ズーム（ZOOM）ボタンを押す :**
  ズーム調整をします。
- **シフト（SHIFT）ボタンを押す :**
  シフト調整をします。

(2) それぞれの調整項目を選び、▲▼◀▶ボタンで調整する

お知らせ :

- ズーム機能のないレンズを使用した場合でもズーム調整メニューが表示されますが動作はしません。
- レンズ上下位置シフトは、標準の位置から投写画面高さの 50 % 上方向の間で上下調整できます。ただし、ET-DLE055 レンズをお使いの場合はシフトできません。
- 約 3 秒以上 ▲▼◀▶ ボタンを押し続けると、速く動作させることができます。
- フォーカス調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをおすすめします。

レンズ位置のホームポジションへの移動のしかた

(1) 後面操作部のレンズ（LENS）ボタンまたはリモコンのシフト（SHIFT）ボタンを 3 秒以上押す

(2)「ホームポジション」メニューが表示されている間に（約 5 秒）エンター（ENTER）ボタンを押す

レンズ
ホームポジション
[ENTER] 実行
[MENU] 中止

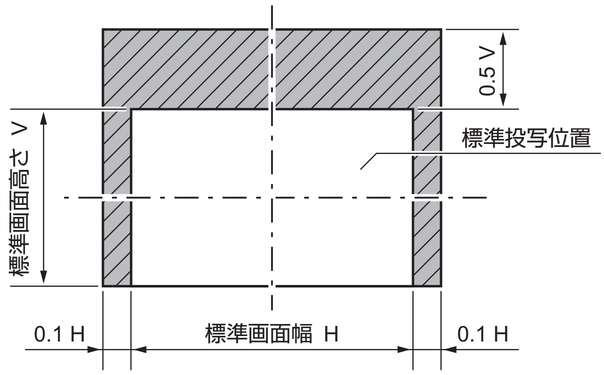
- メニューに「実行中」と表示され、レンズ位置が「ホームポジション」に戻ります。

お願い：
- レンズの「ホームポジション」は、レンズ交換やセット収納のためのレンズ位置で、光学的な画面中央位置ではありません。

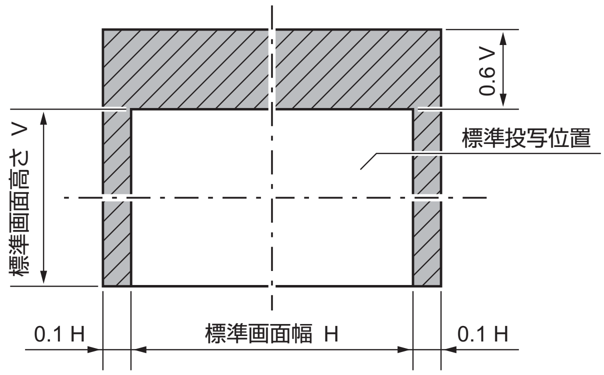
レンズ位置移動による（光学シフト）調整範囲

レンズ位置の移動は調整範囲内で行ってください。調整範囲外へレンズ位置を移動すると、フォーカスが変化する場合がありますのでご注意ください。これは光学部品の保護のためにレンズの移動を規制しているためです。光軸シフト機能により、標準投写位置を基準に下図の範囲で投写位置を調整できます。

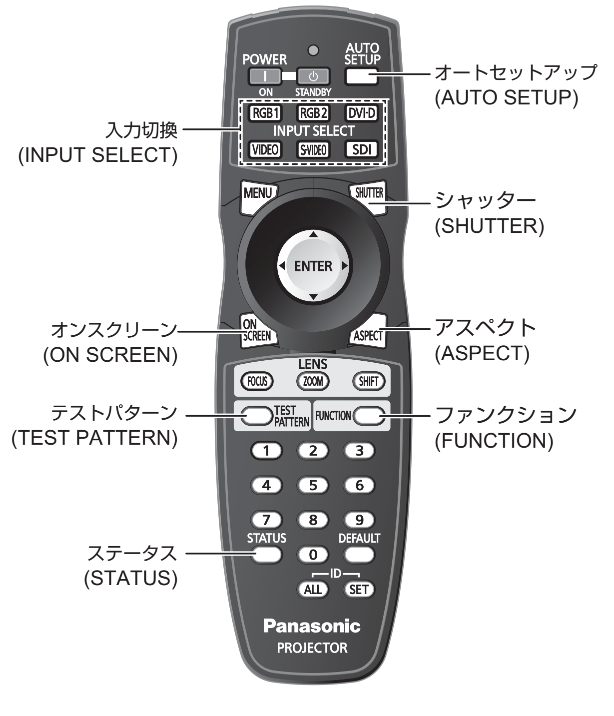
■PT-DZ6710/PT-DZ6700/PT-D6000/PT-D5000 の場合



■PT-DW6300 の場合



リモコンで操作する



シャッター機能を使う

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像を一時的に消すことができます。



ボタン

(1) リモコンまたは本体後面操作部のシャッター（SHUTTER）ボタンを押す

- 映像が消えます。

(2) 再度シャッター（SHUTTER）ボタンを押す

- 映像が出ます。

オンスクリーン表示機能

オンスクリーン表示の表示（オン）/ 非表示（オフ）を切り換えます。

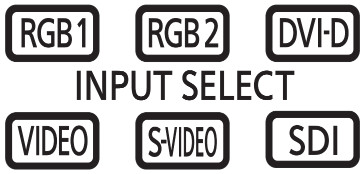


ボタン

(1) リモコンのオンスクリーン（ON SCREEN）ボタンを押す

入力信号を切り換える

投写する入力信号を切り換えることができます。



ボタン

(1) リモコンまたは本体後面操作部の入力切換ボタンを押す

RGB1	RGB1 に入力切換ができます
RGB2	RGB2 に入力切換ができます
DVI-D	DVI-D に入力切換ができます
VIDEO	VIDEO に入力切換ができます
S-VIDEO	S-VIDEO に入力切換ができます
SDI ※	SDI に入力切換ができます

※ SDI 入力は PT-DZ6710 のみ

ステータス機能

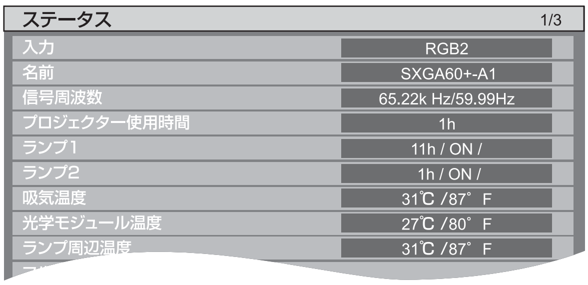
本体の状態を表示します。



ボタン

(1) リモコンのステータス（STATUS）ボタンを押す

- 「ステータス」画面が表示されます。



お知らせ :

- 「プロジェクターセットアップ」メニューから表示させることもできます。（☞27 ページ）

オートセットアップ機能について

オートセットアップ（AUTO SETUP）機能は、コンピューター信号のようなドット構成されたアナログ RGB 信号入力時の解像度、クロックフェーズ、映像位置もしくは DVI-D 信号入力時の映像位置を自動で調整するものです。（DVD プレイヤーの出力信号のような動画フォーマットの信号ではオートセットアップは動作しません。）自動調整時は、最外郭が明るい白枠で、白黒がはっきりしたキャラクター文字などを含む画像を入力することをおすすめします。写真や CG のような中間調を含む画像は適しません。

AUTO SETUP ボタン

(1) リモコンまたは本体後面操作部のオートセットアップ（AUTO SETUP）ボタンを押す

- 正常に終了した場合は「正常終了」と表示されます。

お知らせ :

- 正常終了した場合でも「クロックフェーズ」がずれることがあり、メニュー項目の「クロックフェーズ」で調整してください。
  詳しくは『機能説明書』（付属 CD）の「位置調整」についての「クロックフェーズ」をご覧ください。
- 画面の端がわからないような画像や暗い画像を入力すると、「異常終了」となったり、「正常終了」と表示されても正しく調整できていないことがあります。このときは『機能説明書』（付属 CD）の「アドバンスドメニュー」についての「入力解像度」、「位置調整」についての「クロックフェーズ」、「シフト」の項目を調整してください。
- 特殊な信号は、『機能説明書』（付属 CD）の「表示オプション」についての「自動調整」に従って調整してください。
- コンピューターの機種によっては「自動調整」できない場合があります。
- コンポジットシンクや G-SYNC の同期信号では自動調整できない場合があります。
- 自動調整中、数秒間画像が乱れる場合がありますが異常ではありません。
- 入力信号ごとに調整が必要です。
- 自動調整中にメニュー（MENU）ボタンを押すと、自動調整を取り消すことができます。
- オートセットアップが可能な RGB 信号であっても動画映像が入力されている状態でオートセットアップを行うと「異常終了」となったり、「正常終了」と表示されても正常に調整できていないことがあります。

ファンクションボタンを使う

リモコンのファンクション（FUNCTION）ボタンに「無効」、「サブメモリー」、「システムセレクター」、「システムデイライトビュー」、「フリーズ」、「2画面」を割り当てることで、簡単なショートカットボタンとして使用できます。

FUNCTION ボタン

お知らせ :

- 「2 画面」は PT-DZ6710、PT-DZ6700、PT-DW6300 のみ設定ができます。
- 詳しくは、『機能説明書』（付属 CD）の「プロジェクターセットアップ」についての「ファンクションボタン」をご覧ください。

内蔵テストパターンを表示する

セットの状態を確認するためのテストパターンを7種類内蔵しています。テストパターンを表示させる場合は次の手順で操作してください。

TEST PATTERN ボタン

(1) テストパターン（TEST PATTERN）ボタンを押す

(2) ◀▶ ボタンで「テストパターン」を選択する

お知らせ :

- オンスクリーンメニューでも設定できます。
  詳しくは『機能説明書』（付属 CD）の「テストパターン」についてをご覧ください。
- 位置、サイズなどの調整内容はテストパターンには反映されません。必ず入力信号を表示させた状態で各種設定を行ってください。

映像の縦横比を切り換える

入力に応じて映像の縦横比（アスペクト比）を切り換えることができます。



ボタン

(1) アスペクト（ASPECT）ボタンを押す

● 押すごとに下記のように切り換わります。

VID 自動 *1 / 標準 → S1 自動 *2 → VID 自動 (優先) *2 → 等倍 → 16：9 → 4：3 → H フィット → V フィット → HV フィット → VID 自動 *1 / 標準

＊ 1：VIDEO、S-VIDEO（NTSC）入力時のみ
＊ 2：S-VIDEO（NTSC）入力時のみ

お知らせ :

● 入力信号によっては、選択できないアスペクトモードがあります。
詳しくは『機能説明書』（付属 CD）の「位置調整」についての「アスペクト」をご覧ください。

オンスクリーンメニューについて

メニュー画面の操作方法

■操作の手順

1)「メニュー」ボタンを押す

メインメニューが表示されます。



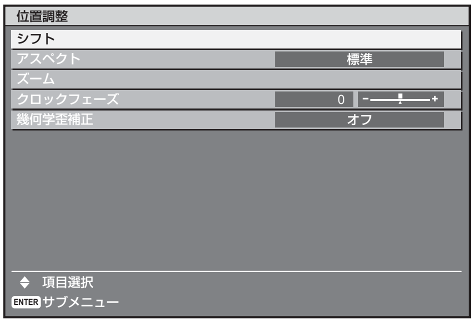
2) ▲▼ ボタンを押してメインメニュー項目を選ぶ

選択中の項目は黄色のカーソルで表示されます。



3) エンター（ENTER）ボタンを押して決定する

選択したメニュー画面の詳細が表示されます。



4) ▲▼ ボタンを押して項目を選択し、◀▶ ボタンを押して設定の切り換えや調整を行う

項目によって ◀▶ ボタンを押すと下図のようなバースケールの個別調整画面が表示されます。

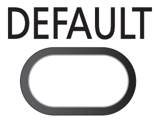


お知らせ :

- メニュー画面を表示中、「メニュー」ボタンを押すと、ひとつ前の階層メニュー画面に戻ります。
- 入力される信号によって、調整できない項目や使用できない機能があります。
- 信号が入力されていない場合でも、調整できるものがあります。
- 約 5 秒間何も操作をしないで放置していると、個別調整画面は自動で消えます。
- メニューの項目については 26、27 ページをご覧ください。

■調整値を工場出荷時の状態に戻す

リモコンの「デフォルト」ボタンを押すと、「メニュー」項目で調整した値が工場出荷時の状態に戻ります。

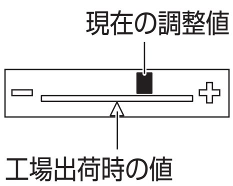


を押す



お知らせ :

- 全ての設定を一度に工場出荷時の状態には戻せません。
「サブメニュー」項目で調整した値を、一度に工場出荷時の状態に戻すには、『機能説明書』（付属 CD）の「プロジェクターセットアップ」についての「**初期化**」をご覧ください。
- 「デフォルト」ボタンを押しても、工場出荷時の状態に戻らない項目もあります。それらの項目は個別に操作してください。
- 個別調整画面のバースケールの下の三角マークは、工場出荷時の値を示しています。
また、三角マークは、入力される信号によって位置が異なります。



オンスクリーン一覧

本機の各種設定や調整は、オンスクリーンメニューを使用します。オンスクリーンメニュー操作については、「メニュー画面の操作方法」をご覧ください。（☞25 ページ）

メニュー項目

メインメニューには 10 項目があり、メインメニューを選択すると、サブメニューの選択画面に移ります。
- **各項目の設定や調整の詳細については、『機能説明書』（付属 CD）をご覧ください。**

■映像 [ ]

- お好みの映像に調整することができます。

サブメニュー項目	工場出荷時
映像モード	スタンダード
ピクチャー	0
黒レベル	0
色の濃さ	0
色あい	0
色温度設定	デフォルト
白ゲイン	10
システムデイライトビュー	オフ
シャープネス	6
ノイズリダクション	1
AI	オン
システムセレクター	YPBPR *1

お知らせ :
- 映像モードによって工場出荷時の値が異なる場合があります。

■位置調整 [ ]

- 映像の大きさ・位置を調整することができます。

サブメニュー項目	工場出荷時
シフト	―
アスペクト	標準 *1
ズーム	―
クロックフェーズ	16
幾何学歪補正 *2	オフ
台形補正 *3	―

■アドバンスドメニュー [ ]

- 高度な調整をすることができます。

サブメニュー項目	工場出荷時
デジタルシネマリアリティ	AUTO *1
ブランキング	―
入力解像度	―
クランプ位置	0
エッジブレンディング *4	オフ
ラスターポジション	―

■表示言語 [ ]

- メニュー表示の言語を切り換えることができます。

■表示オプション [ ]

- その他の設定を変えることができます。

サブメニュー項目	工場出荷時
カラーマッチング *4	オフ
カラーコレクション	オフ
コントラストモード *4	標準
スクリーン設定	―
入力自動セットアップ	オフ
自動調整	―
DVI-D IN	―
SDI IN *2	―
オンスクリーン表示	―
バックカラー	ブルー
スタートアップ ロゴ	ロゴ 2
フリーズ	―
2 画面 *5	―

調整と設定

■プロジェクターセットアップ [ ]

● 設置環境に合わせた様々な設定ができます。

サブメニュー項目	工場出荷時
プロジェクター ID	オール
設置設定	フロント / 床置
高地モード	オフ
ファン制御	床置設定
ランプ選択	デュアル
ランプリレー	オフ
ランプ出力 *4	高
スタンバイモード	ノーマル
RS-232C	―
REMOTE2 端子モード	標準
ステータス	―
フィルター残量リセット	―
無信号自動オフ	無効
ファンクションボタン	―
日付と時刻	―
全ユーザーデータ保存	―
全ユーザーデータロード	―
初期化	―
サービスパスワード	―

■テストパターン [ ]

● テストパターンを表示することができます。

■登録信号一覧 [ ]

● 登録した信号の一覧を見ることができます。

■セキュリティ [ ]

● セキュリティロックをかけることができます。

サブメニュー項目	工場出荷時
セキュリティパスワード	オフ
セキュリティパスワード変更	―
表示設定	オフ
テキスト変更	―
メニューロック	オフ
メニューロックパスワード	―
操作設定	―

■ネットワーク [ ]

● 本機をネットワーク制御する場合に設定します。

サブメニュー項目	工場出荷時
ネットワーク設定	―
ネットワークコントロール	―
ネットワークステータス	―

お知らせ :
- 本機に入力されている信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。
  調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が灰色文字で表示され、項目は選択できません。
- サブメニューの項目、および工場出荷時の値は、入力端子の選択により表示が異なります。

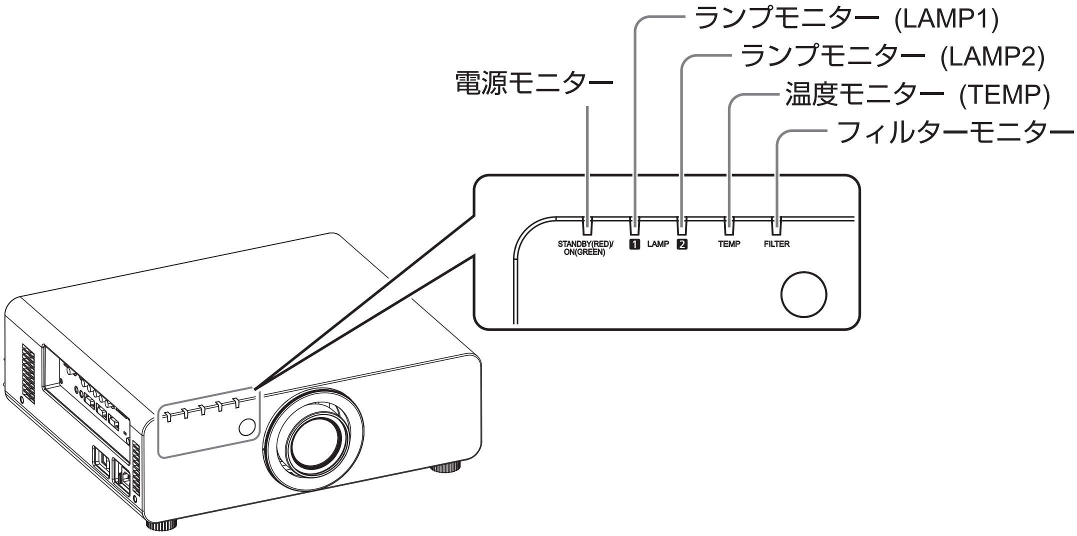
＊ 1：入力信号により異なります
＊ 2：PT-DZ6710 のみ
＊ 3：PT-DZ6700/PT-DW6300/PT-D6000/PT-D5000 のみ
＊ 4：PT-D5000 では使用できません
＊ 5：PT-DZ6710/PT-DZ6700/PT-DW6300 のみ

ランプ / 温度 / フィルターモニター

モニターが点灯したら

本機内部に異常が発生すると、ランプ・温度・フィルターのモニターランプが点灯や点滅でお知らせします。
モニターの状態を調べて、次の処置を行ってください。

お願い :
- 処置を行う際に電源を切るときは「電源を切る」の手順を必ずお守りください。(☞19 ページ)



■ランプモニター

モニター表示	現象	ここをお調べください	処置のしかた
赤色点灯	ランプユニットの交換時期を表示している	● 本機の電源を入れたときに「ランプ交換してください。」という表示が出ませんでしたか。	● ランプユニットの使用時間が 1 800 時間 *1（ランプ出力「高」設定時 *2）に達すると点灯します。 ● ランプユニットの交換を実施してください。
赤色点滅 (1 回)	ランプユニットが装着されていない	● ランプユニットが装着されているかご確認ください。	● ランプユニットが装着されていない場合は、ランプユニットを装着してください。 ● ランプユニットが装着されているのに赤色点滅をしている場合は、販売店にご相談ください。
赤色点滅 (3 回)	ランプまたはランプ用電源の異常を検知している	● 電源を切ってからすぐに電源を入れ直していませんか。	● 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。
		● ランプ回路に異常が発生しています。 ● 電源電圧が変動（低下）していませんか。	● 19 ページの手順で主電源 (MAIN POWER) スイッチを切り、販売店にご相談ください。

お知らせ :
- 上記の処置をしても「ランプモニター」が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

＊ 1：PT-D5000 では 2 800 時間になります。
＊ 2：PT-DZ6710/PT-DZ6700/PT-DW6300/PT-D6000 のみ。

■温度モニター

モニター表示	現象	ここをお調べください	処置のしかた
赤色点灯	ウォームアップ状態	● 気温が低い（0 ℃付近）状況で電源を「入」にしませんでしたか。	● このままの状態で 5 分ほどお待ちください。 ● 周囲温度 0 ℃～ 45 ℃の場所に設置してください。
	内部が高温になっている（警告）	● 通風孔がふさがれていませんか。 ● 気温の高い所で使用していませんか。 ● フィルターモニターが点灯していませんか。	● 通風孔をふさいでいるものを取り除いてください。 ● 周囲温度 0 ℃～ 45 ℃、周囲湿度 20 %～ 80 %(非結露) の場所に設置してください。 ● 19 ページの手順で主電源（MAIN POWER）スイッチを切り、ACF ユニットを交換してください。
赤色点滅（1 回）	フィルターがめづまりしている		
赤色点滅（2 回）	内部が高温になっている（スタンバイ状態）		
赤色点滅（3 回）	ファンが止まっている	–	● 19 ページの手順で主電源（MAIN POWER）スイッチを切り、販売店にご相談ください。

お知らせ :
- 上記の処置をしても「温度モニター」が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

■フィルターモニター

モニター表示	現象	ここをお調べください	処置のしかた
赤色点灯	フィルターが全て巻き取られ、新しい面がありません	●「プロジェクターセットアップ」の「ステータス」でフィルターの残量をご確認ください。	● ACF ユニットを交換してください。
赤色点滅	ACF ユニットが装着されていません	● ACFユニット収納部をご確認ください。	● ACF ユニットを装着してください。
オレンジ色点灯	ACF の新しい面が残りわずかですセット使用残り約 200 時間です	●「プロジェクターセットアップ」の「ステータス」でフィルターの残量をご確認ください。	● 新しいACFユニットをご用意ください。
オレンジ色点滅	ACF ユニットが正しく動作していません	● フィルターに異物がはさまっていないかご確認ください。	● 異物がある場合は取り除いてください。 ● 異物が見られない場合は、販売店にご相談ください。

お知らせ :
- 上記の処置をしても「フィルターモニター」が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。
- 電源オン時に ACF ユニットが装着されていない場合、「フィルターモニター」が赤色点滅し、電源が切れます。
- フィルターが巻き取られている間は、緑色点滅します。
- フィルターが巻き取られているときに、動作音が聞こえることがあります。
- オレンジ色点灯開始後、上記のセットご使用可能な残り時間は目安であり、ほこりの多い環境では短くなることがあります。お早めに新しい ACF ユニットをご用意ください。
- 海抜 1 400 m 以上で「高地モード」の設定を「オフ」で使用した場合、寿命が短くなります。
- ACF ユニットが正しく動作しない場合、「フィルターモニター」がオレンジ色に点滅する前に、ACF ユニット部分からフィルター巻き取り機構のクラッチの動作音がすることがあります。

部品交換

部品交換の前に

- 部品交換を行うときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。（☞17、19 ページ）
- 電源を切るときは「電源を切る」の手順を必ずお守りください。（☞19 ページ）

部品交換

■ACF（オートクリーニングフィルター）ユニット

ACF ユニットは交換部品（別売り）です。ACF ユニットは巻き取り方式を採用しており、自動的に汚れた面を巻き取ります。

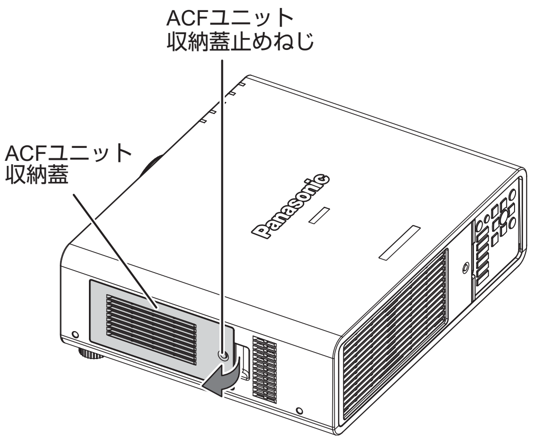
『機能説明書』（付属 CD）の「プロジェクターセットアップ」についての「ステータス」でフィルターの残量の確認を行い、フィルターの残量が少なくなってきたら、交換用の ACF ユニットをご用意ください。

- ACF ユニット（品番：ET-ACF100（サービス部品扱い））をご購入の際は、販売店にご相談ください。

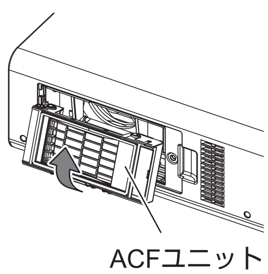
■ACF ユニットの交換手順

1）主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く

2）「ACF ユニット収納蓋止めねじ」（1 本）を外し、「ACF ユニット収納蓋」を取り外す



3）プロジェクター本体から「ACF ユニット」を取り外す

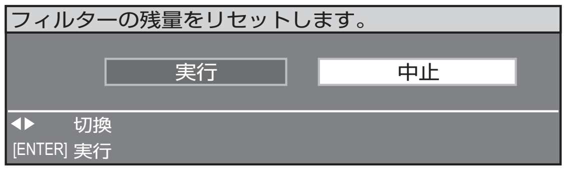


- 「ACF ユニット」を取り出したあとに、ACF ユニット収納部及び本体側吸気孔に大きなゴミ、ほこりがある場合は、取り除いてください。

4）新しい「ACF ユニット」をプロジェクター本体にしっかりと押し込む

5）「ACF ユニット収納蓋」を取り付け、「ACF ユニット収納蓋止めねじ」（1 本）でしっかりと締め付ける

6）「ACF ユニット」交換後、『機能説明書』（付属 CD）の「プロジェクターセットアップ」についての「フィルター残量リセット」を選択しエンター（ENTER）ボタンを押す



7）◀▶ ボタンで「実行」を選び、エンター（ENTER）ボタンを押す

- フィルターの残量がリセットされます。

お知らせ :

- ACF ユニットは必ず取り付けてご使用ください。ACF ユニットが装着されていない場合、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因となるため電源が切れます。
- ACF ユニットの交換時期は、使用環境により異なります。
- ACF ユニットは必ず未使用品と交換してください。

■ランプユニット

ランプユニットは消耗部品です。『機能説明書』（付属 CD）の「プロジェクターセットアップ」についての「ステータス」でランプの使用時間を確認し、定期的に交換を行ってください。
ランプユニットの交換は、専門の技術者にご依頼することをお勧めします。販売店にご相談ください。
また、ランプユニット（品番：ET-LAD60（1 灯）、ET-LAD60W（2 灯））ご購入の際は、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

■ ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1 時間以上待ってから）行う

カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。

ランプユニットは必ず 2 ユニット装着する

■ランプユニットの交換上のお願い

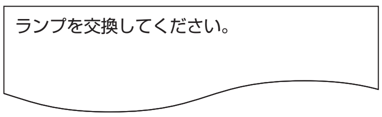
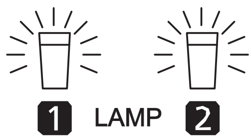
- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当てたり落下させると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- ランプユニットを交換する際は、必ずランプユニットの取っ手を持って取り扱ってください。
- ランプは破裂することがあります。ランプのガラス破片が飛散しないように、ランプユニットは慎重に交換してください。また本機を天井に取り付けている場合は、ランプユニットの真下で交換作業をしたり、顔を近づけたりしないでください。
- 取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

お願い：

- 指定のランプ以外は使用しないでください。

■ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。交換の目安は 2 000 時間 [*1] ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境などの影響を受けて、2 000 時間 [*1] に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めのランプユニットの準備をお勧めします。2 000 時間 [*1] を過ぎても交換しないまま使用すると、本機故障の原因となるため約 10 分後に自動消灯します。

	オンスクリーン表示	ランプモニター
		
1 800 時間 [*2] 以降	30 秒間表示されます。30 秒以内にいずれかのボタンを押せば、表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。
2 000 時間 [*1] 以降	いずれかのボタンを押さない限り、表示は消えません。	

お知らせ：

- 2 000 時間 [*1] は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については 41 ページの「保証とアフターサービス」をご覧ください。

＊ 1：PT-D5000 では 3 000 時間になります。
＊ 2：PT-D5000 では 2 800 時間になります。

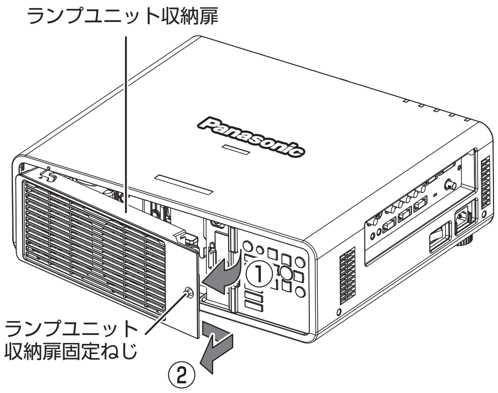
■ランプユニットの交換手順

お願い：

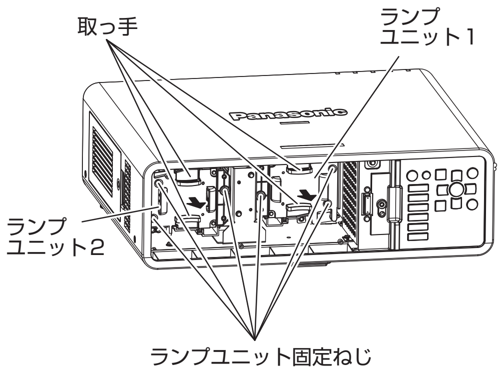
- 本機を天井に取り付けている場合、ランプユニットの近辺で顔を近づけて作業をしないでください。
- ランプユニットは確実に取り付けてください。ランプユニットの取り付けが不完全だと、保護回路が作動し電源が入りません。

1）「電源を切る」（☞19 ページ）の手順を守り、主電源スイッチを切ったあと、コンセントから電源プラグを抜き、1 時間以上待ってランプユニット近辺が冷えていることを確認する

**2）①ランプユニット収納扉固定ねじ（1 本）をプラスドライバーで空回りするまで回し、「ランプユニット収納扉」を矢印方向に開く
②「ランプユニット収納扉」をしっかりと保持し、操作ボタン側にスライドさせた後、セット後方に引き出し取り外す**



3）ランプユニット固定ねじ（それぞれ 3 本ずつ）をプラスドライバーで外し、取っ手をつまんで「ランプユニット」を取り出す



⚠注意

使用直後のランプユニットは高温なので注意する

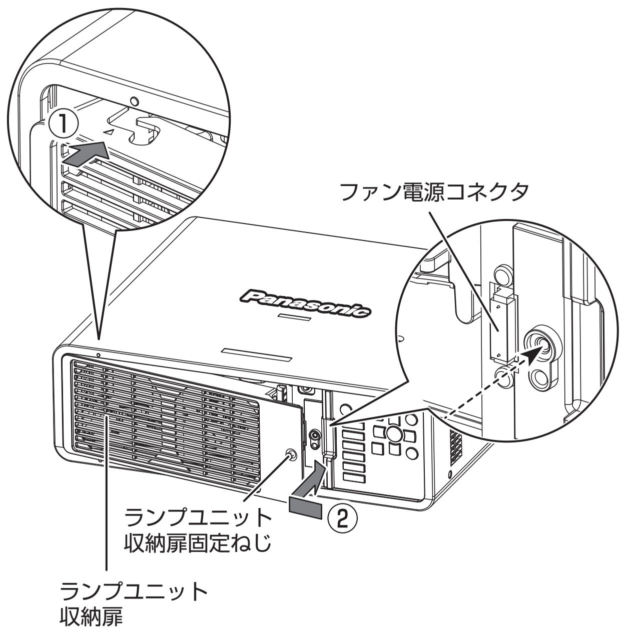
触るとやけどの原因になります。

4）新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込む

5）ランプユニット固定ねじ（それぞれ 3 本ずつ）をプラスドライバーでしっかりと締め付ける

**6）①「ランプユニット収納扉」を○と△の印にあわせて取り付ける
②「ランプユニット収納扉」を矢印のようにスライドさせ前方にはめ込んだ後、ランプユニット収納扉固定ねじでしっかりと締め付ける**

- ファン電源コネクタにランプユニット収納扉側のコネクタがしっかりと差し込まれるように取り付ける



お願い：

- ランプユニットや、ランプユニット収納扉は確実に取り付けてください。ランプユニットやランプユニット収納扉の取り付けが不完全だと、保護回路が動作し電源が入りません。

お知らせ：

- 新しいランプユニットに交換した場合、本機側でランプユニットの積算時間が自動的にリセットされます。

修理を依頼される前に

もう一度次の点をお調べください。詳しくは、対応するページをご覧ください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ● 主電源スイッチを「OFF」にしていませんか。 ● コンセントに電源がきていますか。 ● ブレーカーが落ちていませんか。 ●「温度モニター」または「ランプモニター」が点灯または点滅していませんか。 ● ランプユニット収納扉は確実に取り付けられていますか。	— 19 — — 28、29 32
映像がでない	● 映像（出力）機器との接続は正しく行われていますか。 ● 入力切換は正しく選択されていますか。 ● 明るさ調整が最小になっていませんか。 ● 本機に接続している外部機器は、正常に動作していますか。 ● シャッター機能を使用していませんか。 ● ACF(オートクリーニングフィルター) ユニットが外されていませんか。	付属 CD*1 22 付属 CD*1 — 22 30
映像がボヤけている	● レンズのフォーカスは合っていますか。 ● 投写距離は適切ですか。 ● レンズが汚れていませんか。 ● 本機がスクリーンに対して垂直に設置されていますか。	20 付属 CD*1 9 —
色が薄い／色あいが悪い	●「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。 ● 本機に接続している機器は正しく調整されていますか。 ● RGB ケーブルが切れていませんか。	付属 CD*1 付属 CD*1 —
リモコンが働かない	● 乾電池が消耗していませんか。 ● 乾電池の極性は正しくセットされていますか。 ● リモコンと本機のリモコン受信部の間に障害物はありませんか。 ● リモコン操作有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。 ● 蛍光灯などの影響を受けていませんか。 ●「リモコン」の設定が「無効」になっていませんか。 ● リモート 2（REMOTE2）端子を使って外部制御を行っていませんか。 ● ID 設定の操作を間違えていませんか。	— 11 11 11 11 付属 CD*1 付属 CD*1 付属 CD*1
メニュー画面が出ない	● オンスクリーン表示機能を「切」にしていませんか。	22
後面操作部のボタンが働かない	●「本体操作部」の設定が「無効」になっていませんか。 ● リモート 2（REMOTE2）端子を使って外部制御を行っていませんか。	付属 CD*1 付属 CD*1
正常な映像が映らない	●「システムセレクター」の選択は正しく行われていますか。 ● ビデオテープなど、映像ソース側に異常はありませんか。 ● 本機が対応できない信号を入力していませんか。	付属 CD*1 — 34
コンピューターからの映像が映らない	● ケーブルが長くありませんか。（10 m 以下にしてください。） ● ノート型コンピューターの外部映像出力が、正しく設定されていますか。（例：「Fn」＋「F3」あるいは「Fn」＋「F10」キーを同時に押すと、外部出力設定が切り替わる場合があります。コンピューターの機種によって異なりますので、コンピューター付属の説明書をご覧ください。）	— —
コンピューターの DVI-D 出力の絵が出ない	● DVI-D IN の設定が EDID3・EDID2（PC）になっていますか。 ● グラフィックアクセラレーターのドライバーを最新バージョンにすることで改善する可能性があります。 ● DVI-D IN の設定を行ってから、コンピューターの電源を入れなおすことで改善する可能性があります。	付属 CD*1 — 付属 CD*1

※上記内容を確認された後、正常に動作しない場合は、販売店にご相談ください。（☞41 ページ）
*1：『機能説明書』（付属 CD）をご覧ください。

付録

対応信号リスト

本機が投写できる映像信号は下表の通りです。
フォーマット：■ V：ビデオ　■ S：S ビデオ　■ D：DVI　■ R：RGB　■ Y：YPBPR　■ SDI ※

対応信号	解像度（ドット）	走査周波数		ドットクロック周波数（MHz）	画質 *2	プラグアンドプレイ対応 *7			フォーマット
		水平（kHz）	垂直（Hz）			RGB2	DVI-D EIDI1	DVI-D EIDI2	
NTSC/NTSC4.43/PAL-M/PAL60	720 x 480i	15.7	59.9	–	A				V/S
PAL/PAL-N/SECAM	720 x 576i	15.6	50.0	–	A				V/S
525i (480i)	720 x 480i	15.7	59.9	13.5	A				R/Y/SDI
625i (576i)	720 x 576i	15.6	50.0	13.5	A				R/Y/SDI
525p (480p)	720 x 483	31.5	59.9	27.0	A		●		D/R/Y
625p (576p)	720 x 576	31.3	50.0	27.0	A		●		D/R/Y
1 125 (1 080)/60i	1 920 x 1 080i	33.8	60.0	74.3	AA*3		●		D/R/Y/SDI
1 125 (1 080)/50i	1 920 x 1 080i	28.1	50.0	74.3	AA*3		●		D/R/Y/SDI
1 125 (1 080)/24p	1 920 x 1 080	27.0	24.0	74.3	AA*3		●		D/R/Y/SDI
1 125 (1 080)/24sF	1 920 x 1 080i	27.0	24.0	74.3	AA*3				D/R/Y/SDI
1 125 (1 080)/25p	1 920 x 1 080	28.1	25.0	74.3	AA*3		●		D/R/Y/SDI
1 125 (1 080)/30p	1 920 x 1 080	33.8	30.0	74.3	AA*3				D/R/Y/SDI
1 125 (1 080)/60p	1 920 x 1 080	67.5	60.0	148.5	AA*3		●		D/R/Y
1 125 (1 080)/50p	1 920 x 1 080	56.3	50.0	148.5	AA*3		●		D/R/Y
750 (720)/60p	1 280 x 720	45.0	60.0	74.3	AA*4		●		D/R/Y/SDI
750 (720)/50p	1 280 x 720	37.5	50.0	74.3	AA*4		●		D/R/Y/SDI
VGA400	640 x 400	31.5	70.1	25.2	A				D/R
	640 x 400	37.9	85.1	31.5	A				D/R
VGA480	640 x 480	31.5	59.9	25.2	A	●	●	●	D/R
	640 x 480	35.0	66.7	30.2	A				D/R
	640 x 480	37.9	72.8	31.5	A	●		●	D/R
	640 x 480	37.5	75.0	31.5	A	●		●	D/R
	640 x 480	43.3	85.0	36.0	A				D/R
SVGA	800 x 600	35.2	56.3	36.0	A	●		●	D/R
	800 x 600	37.9	60.3	40.0	A	●		●	D/R
	800 x 600	48.1	72.2	50.0	A	●		●	D/R
	800 x 600	46.9	75.0	56.3	A	●		●	D/R
	800 x 600	53.7	85.1	56.3	A				D/R
MAC16	832 x 624	49.7	74.6	57.3	A	●		●	D/R
XGA	1 024 x 768	39.6	50.0	51.9	AA*5				D/R
	1 024 x 768	48.4	60.0	65.0	AA*5	●		●	D/R
	1 024 x 768	56.5	70.1	75.0	AA*5	●		●	D/R
	1 024 x 768	60.0	75.0	78.8	AA*5	●		●	D/R
	1 024 x 768	65.5	81.6	86.0	AA*5				D/R
	1 024 x 768	68.7	85.0	94.5	AA*5				D/R
	1 024 x 768	80.0	100.0	105.0	AA*5				D/R
	1 024 x 768	96.7	120.0	130.0	AA*5				D/R
MXGA	1 152 x 864	64.0	71.2	94.2	A				D/R
	1 152 x 864	67.5	74.9	108.0	A				D/R
	1 152 x 864	76.7	85.0	121.5	A				D/R

対応信号	解像度（ドット）	走査周波数		ドットクロック周波数（MHz）	画質 *2	プラグアンドプレイ対応 *7			フォーマット
		水平（kHz）	垂直（Hz）			RGB2	DVI-D EIDI1	DVI-D EIDI2	
MAC21	1 152 x 870	68.7	75.1	100.0	A	●		●	D/R
1 280 x 768	1 280 x 768	39.6	49.9	65.3	AA*4				D/R
	1 280 x 768	47.8	59.9	79.5	AA*4				D/R
1 280 x 800	1 280 x 800	41.3	50.0	68.0	AA*4				D/R
	1 280 x 800	49.7	59.8	83.5	AA*4				D/R
MSXGA	1 280 x 960	60.0	60.0	108.0	A				D/R
SXGA	1 280 x 1 024	64.0	60.0	108.0	A	●		●	D/R
	1 280 x 1 024	80.0	75.0	135.0	A	●		●	D/R
	1 280 x 1 024	91.1	85.0	157.5	A*6				D/R
SXGA+	1 400 x 1 050	65.2	60.0	122.6	A	●		●	D/R
	1 400 x 1 050	82.2	75.0	155.9	A*6				D/R
WXGA+	1 440 x 900	55.9	59.9	106.5	A				D/R
UXGA	1 600 x 1 200	75.0	60.0	162.0	A*6	●		●	D/R
WSXGA+	1 680 x 1 050	65.3	60.0	146.3	A				D/R
1 920 x 1 080*1	1 920 x 1 080	66.6	59.9	138.5	AA*3				D/R
WUXGA*1	1 920 x 1 200	74.0	60.0	154.0	AA*6	●		●	D/R

※：PT-DZ6710 のみ
*1 VESA CVT-RB(Reduced Blanking) 準拠
*2 画質を表す記号は下記の通りです。
AA：最高の画質で投写できます。　A　：画像処理回路で変換を行い投写します。
B　：画像処理回路で画素を間引いて投写します。
*3 PT-DW6300/PT-D6000/PT-D5000 は記号 A になります。
*4 PT-DZ6710/PT-DZ6700/PT-D6000/PT-D5000 は記号 A になります。
*5 PT-DZ6710/PT-DZ6700/PT-DW6300 は記号 A になります。
*6 PT-DW6300/PT-D6000/PT-D5000 は記号 B になります。
*7 プラグアンドプレイ対応に●がある信号は、プロジェクターの EDID(拡張ディスプレイ識別データ) に記述している信号です。プラグアンドプレイ対応に●がない信号でもフォーマット欄に記載があれば入力可能です。プラグアンドプレイ対応に●がない信号は、コンピューターが対応していても解像度の選択ができないコンピューターがあります。

お知らせ :

- PT-DZ6710/PT-DZ6700 の表示ドット数は 1 920 x 1 200、PT-DW6300 の表示ドット数は 1 280 x 800、PT-D6000/PT-D5000 の表示ドット数は 1 024 x 768 です。解像度が異なる信号は表示ドット数に変換されて表示されます。
- 解像度のドット数の後ろの「i」はインターレース信号を意味します。
- インターレース信号接続時は映像にちらつきが発生することがあります。

仕様

本機の仕様は下表の通りです。

品番		PT-DZ6710	PT-DZ6710L	PT-DZ6700	PT-DZ6700L
使用電源		AC100 V　50 Hz ／ 60 Hz			
消費電力		850 W （スタンバイモード「エコ」設定時 0.2 W、「ノーマル」設定時 8 W）			
DLP™ チップ	サイズ	0.67 型 (アスペクト比 16：10)			
	表示方式	DLP™ チップ 1 枚　DLP™ 方式			
	画素数	2 304 000 画素 (1 920 × 1 200 ドット)			
レンズ	電動ズーム	1.8 ～ 2.4：1	オプション	1.8 ～ 2.4：1	オプション
	電動フォーカス	F =1.7 ～ 2.0 f =26.8 mm ～ 35.7 mm		F =1.7 ～ 2.0 f =26.8 mm ～ 35.7 mm	
光源ランプ		300 W　UHM ランプ× 2			
光出力		6 000 lm *1（ANSI）			
対応走査周波数	ビデオ信号時 (S ビデオ含む)	水平 15.75 kHz/15.63 kHz　垂直 50 Hz/60 Hz			
	RGB 信号時	水平 15 kHz ～ 91 kHz　垂直 50 Hz ～ 85 Hz PIAS(Panasonic Intelligent Auto Scanning) 方式 ドットクロック周波数 162 MHz 以下			
	DVI-D 信号時	480p、576p、720/60p、720/59.94p、720/50p、1 080/60p、1 080/59.94p、1 080/50p、1 080/60i、1 080/59.94i、1 080/50i、1 080/24sF、1 080/23.98sF、1 080/30p、1 080/29.97p、1 080/25p、1 080/24p、1 080/23.98p ● 表示可能解像度：VGA ～ WUXGA（ノンインターレース） ● ドットクロック周波数：25 MHz ～ 162 MHz ● WUXGA 信号は VESA CVT-RB(Reduced Blanking) 信号のみ対応しています。			
	YPBPR 信号時	[480i] 水平 15.73 kHz 垂直 59.94 Hz [480p] 水平 31.5 kHz 垂直 59.94 Hz [720/50p] 水平 37.5 kHz 垂直 50 Hz [1 035/60i] 水平 33.75 kHz 垂直 60 Hz [1 080/60i] 水平 33.75 kHz 垂直 60 Hz [1 080/25p] 水平 28.13 kHz 垂直 25 Hz [1 080/24sF] 水平 27 kHz 垂直 48 Hz [1 080/60p] 水平 67.5 kHz 垂直 60 Hz [576i] 水平 15.63 kHz 垂直 50 Hz [576p] 水平 31.25 kHz 垂直 50 Hz [720/60p] 水平 45 kHz 垂直 60 Hz [1 080/50i] 水平 28.13 kHz 垂直 50 Hz [1 080/24p] 水平 27 kHz 垂直 24 Hz [1 080/30p] 水平 33.75 kHz 垂直 30 Hz [1 080/50p] 水平 56.25 kHz 垂直 50 Hz ● HD/SYNC、VD 端子は、3 値 SYNC には対応していません。			
カラー方式		7 方式 (NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-N/PAL-M/SECAM/PAL60)			
投写画面サイズ		50 ～ 600 型 *2			
画面アスペクト比		16：10			
投写方式		フロント／リア／天つり／床置 (メニュー設定方式)			
コントラスト比		2 000：1 (「コントラストモード」が「高」のとき)			
接続端子	RGB1 入力端子	1 系統（BNC × 5） [RGB 信号]　0.7 V [p-p] 75 Ω（G-SYNC 時　1.0 [p-p] 75 Ω） HD/SYNC　TTL ハイインピーダンス　正／負極性自動対応 VD　TTL ハイインピーダンス　正／負極性自動対応 [YPBPR 信号] Y：1.0 V [p-p] 同期信号を含む、PBPR：0.7 V [p-p] 75 Ω			

その他

品番		PT-DZ6710	PT-DZ6710L	PT-DZ6700	PT-DZ6700L
接続端子	RGB2 入力端子	1 系統　高密度 D-Sub 15 p（メス） [RGB 信号]　0.7 V [p-p] 75 Ω（G-SYNC 時　1.0 [p-p] 75 Ω） HD/SYNC　TTL ハイインピーダンス　正／負極性自動対応 VD　TTL ハイインピーダンス　正／負極性自動対応 [YP_BP_R 信号]　Y：1.0 V [p-p] 同期信号を含む、P_BP_R：0.7 V [p-p] 75 Ω			
	VIDEO 入力端子	1 系統　BNC 1.0 V [p-p] 75 Ω			
	S-VIDEO 入力端子	1 系統　Mini DIN 4 p Y 1.0 V [p-p]、C 0.286 V [p-p] 75 Ω S1 信号に対応			
	シリアル入出力端子	D-Sub 9 p　各 1 系統　RS-232C 準拠　コンピューター制御用			
	リモート 1 入出力端子	M3 ステレオミニジャック　各 1 系統　ワイヤードリモコン、連結制御用			
	リモート 2 入出力端子	1 系統　D-Sub 9 p（メス）　外部制御用（接点制御）			
	DVI-D 入力端子	1 系統　DVI-D 24 p シングルリンク　DVI1.0 準拠　HDCP 対応			
	SDI 入力端子	1 系統（BNC）　Y・C_B・C_R　4：2：2　10 ビット SMPTE259M・SMPTE292M 規格準拠		—	
	LAN 端子	1 系統　RJ-45　ネットワーク接続用　PJLink™ 対応　10 Base - T/100 Base - TX			
電源コードの長さ		3.0 m			
キャビネット		樹脂成型品			
外形寸法		横幅：498 mm　高さ：175 mm(脚最小時)　奥行：440 mm(付属のレンズ含む)			
質量		約 16.0 kg *3			
使用環境条件		使用環境温度 *4　：0 ℃ ～ 45 ℃ 使用環境湿度：20 % ～ 80 %（結露のないこと）			
リモコン	使用電源	DC 3 V（単 3 形乾電池 2 コ）			
	操作距離	約 30 m（受信部正面）			
	質量	120 g（乾電池含む）			
	外形寸法	横幅：51 mm　高さ：176 mm　奥行：22.7 mm			
別売品	天つり金具	高天井用：ET-PKD56H 低天井用：ET-PKD55S			
	投写レンズ	ET-DLE150、ET-DLE250、ET-DLE350、ET-DLE450、ET-DLE055			
	交換用ランプユニット	ET-LAD60（1 灯）、ET-LAD60W（2 灯）			
	ACF ユニット	ET-ACF100			

*1：PT-DZ6710/PT-DZ6700 に付属のレンズの値です。レンズによって値は異なります。
出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクタの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については付属書 2 に基づいています。
*2：ET-DLE055 レンズ使用時は最大 200 型になります。
*3：平均値。各製品で質量が異なる場合があります。（付属のレンズ含む）
*4：高地（1 400 m ～ 2 700 m）で使用する場合、使用環境温度の上限は 5 ℃低くなります。

- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

仕様 (つづき)

本機の仕様は下表の通りです。

品番		PT-DW6300	PT-DW6300L	PT-D6000	PT-D6000L	PT-D5000	PT-D5000L
使用電源		AC100 V　50 Hz ／ 60 Hz					
消費電力		800 W				630 W	
		（スタンバイモード「エコ」設定時 0.2 W、「ノーマル」設定時 8 W）					
DLP™ チップ	サイズ	0.65 型 (アスペクト比 16 : 10)		0.7 型 (アスペクト比 4 : 3)			
	表示方式	DLP™ チップ 1 枚　DLP™ 方式					
	画素数	1 024 000 画素 (1 280 × 800 ドット)		786 432 画素 (1 024 × 768 ドット)			
レンズ	電動ズーム	1.8 ～2.4 : 1	オプション	1.8 ～2.4 : 1	オプション	1.8 ～2.4 : 1	オプション
	電動フォーカス	F =1.7 ～ 2.0 f =25.6 mm ～33.8 mm		F =1.7 ～ 2.0 f =25.6 mm ～33.8 mm		F =1.7 ～ 2.0 f =25.6 mm ～33.8 mm	
光源ランプ		300 W　UHM ランプ× 2				240 W　UHM ランプ× 2	
光出力		6 000 lm [*1]（ANSI）		6 500 lm [*1]（ANSI）		5 000 lm [*1]（ANSI）	
対応走査周波数	ビデオ信号時 (S ビデオ含む)	水平 15.75 kHz/15.63 kHz　垂直 50 Hz/60 Hz					
	RGB 信号時	水平 15 kHz ～ 91 kHz　垂直 50 Hz ～ 85 Hz PIAS(Panasonic Intelligent Auto Scanning) 方式					
		ドットクロック周波数 150 MHz 以下					
	DVI-D 信号時	480p、576p、720/60p、720/59.94p、720/50p、1 080/60p、1 080/59.94p、1 080/50p、1 080/60i、1 080/59.94i、1 080/50i、1 080/24sF、1 080/23.98sF、1 080/30p、1 080/29.97p、1 080/25p、1 080/24p、1 080/23.98p ● 表示可能解像度：VGA ～ WUXGA（ノンインターレース） ● ドットクロック周波数：25 MHz ～ 162 MHz ● WUXGA 信号は VESA CVT-RB(Reduced Blanking) 信号のみ対応しています。					
	YPBPR 信号時	[480i] 水平 15.73 kHz 垂直 59.94 Hz [576i] 水平 15.63 kHz 垂直 50 Hz [480p] 水平 31.5 kHz 垂直 59.94 Hz [576p] 水平 31.25 kHz 垂直 50 Hz [720/50p] 水平 37.5 kHz 垂直 50 Hz [720/60p] 水平 45 kHz 垂直 60 Hz [1 035/60i] 水平 33.75 kHz 垂直 60 Hz [1 080/50i] 水平 28.13 kHz 垂直 50 Hz [1 080/60i] 水平 33.75 kHz 垂直 60 Hz [1 080/24p] 水平 27 kHz 垂直 24 Hz [1 080/25p] 水平 28.13 kHz 垂直 25 Hz [1 080/30p] 水平 33.75 kHz 垂直 30 Hz [1 080/24sF] 水平 27 kHz 垂直 48 Hz [1 080/50p] 水平 56.25 kHz 垂直 50 Hz [1 080/60p] 水平 67.5 kHz 垂直 60 Hz ● HD/SYNC、VD 端子は、3 値 SYNC には対応していません。					
カラー方式		7 方式 (NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-N/PAL-M/SECAM/PAL60)					
投写画面サイズ		50 ～ 600 型 [*2]					
画面アスペクト比		16 : 10		4 : 3			
投写方式		フロント／リア／天つり／床置 (メニュー設定方式)					
コントラスト比		2 000 : 1 (「コントラストモード」が「高」のとき)				1000 : 1	
接続端子	RGB1 入力端子	1 系統（BNC × 5） [RGB 信号]　0.7 V [p-p] 75 Ω（G-SYNC 時　1.0 [p-p] 75 Ω） HD/SYNC　TTL ハイインピーダンス　正／負極性自動対応 VD　TTL ハイインピーダンス　正／負極性自動対応 [YPBPR 信号] Y：1.0 V [p-p] 同期信号を含む、PBPR：0.7 V [p-p] 75 Ω					

品番		PT-DW6300	PT-DW6300L	PT-D6000	PT-D6000L	PT-D5000	PT-D5000L
接続端子	RGB2 入力端子	1 系統　高密度 D-Sub 15 p（メス） [RGB 信号]　0.7 V [p-p] 75 Ω（G-SYNC 時　1.0 [p-p] 75 Ω） HD/SYNC　TTL ハイインピーダンス　正／負極性自動対応 VD　TTL ハイインピーダンス　正／負極性自動対応 [YPBPR 信号]　Y：1.0 V [p-p] 同期信号を含む、PBPR：0.7 V [p-p] 75 Ω					
	VIDEO 入力端子	1 系統　BNC 1.0 V [p-p] 75 Ω					
	S-VIDEO 入力端子	1 系統　Mini DIN 4 p Y 1.0 V [p-p]、C 0.286 V [p-p] 75 Ω S1 信号に対応					
	シリアル入出力端子	D-Sub 9 p　各 1 系統　RS-232C 準拠　コンピューター制御用					
	リモート 1 入出力端子	M3 ステレオミニジャック　各 1 系統　ワイヤードリモコン、連結制御用					
	リモート 2 入出力端子	1 系統　D-Sub 9 p（メス）　外部制御用（接点制御）					
	DVI-D 入力端子	1 系統　DVI-D 24 p シングルリンク　DVI1.0 準拠　HDCP 対応					
	LAN 端子	1 系統　RJ-45　ネットワーク接続用　PJLink™ 対応　10 Base - T/100 Base - TX					
電源コードの長さ		3.0 m					
キャビネット		樹脂成型品					
外形寸法		横幅：498 mm　高さ：175 mm(脚最小時)　奥行：440 mm(付属のレンズ含む)					
質量		約 16.0 kg *3					
使用環境条件		使用環境温度 *4 ：0 ℃ ～ 45 ℃ 使用環境湿度：20 % ～ 80 %（結露のないこと）					
リモコン	使用電源	DC 3 V（単 3 形乾電池 2 コ）					
	操作距離	約 30 m（受信部正面）					
	質量	120 g（乾電池含む）					
	外形寸法	横幅：51 mm　高さ：176 mm　奥行：22.7 mm					
別売品	天つり金具	高天井用：ET-PKD56H 低天井用：ET-PKD55S					
	投写レンズ	ET-DLE150、ET-DLE250、ET-DLE350、ET-DLE450、ET-DLE055					
	交換用ランプユニット	ET-LAD60（1 灯）、ET-LAD60W（2 灯）					
	ACF ユニット	ET-ACF100					

*1： PT-DW6300、PT-D6000、PT-D5000 に付属のレンズの値です。レンズによって値は異なります。出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクタの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については付属書 2 に基づいています。
*2： ET-DLE055 レンズ使用時は最大 200 型になります。
*3： 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。（付属のレンズ含む）
*4： 高地（1 400 m ～ 2 700 m）で使用する場合、使用環境温度の上限は 5 ℃低くなります。

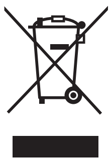
- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
  (This projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

商標について
- Microsoft とそのロゴ、Windows、Windows® XP、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では ® や TM マークは明記していません。

■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、日本国内の法律等に従って廃棄処理をしてください。

EU



■中国域内での環境に関する情報



このシンボルマークは中国国内でのみ有効です。

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・・・

まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと保管してください。

■保証期間

お買い上げ日から本体 1 年間。ただし光源ランプは 6ヵ月または 600 時間の早い方。

■修理を依頼されるとき

「修理を依頼される前に」（☞33 ページ）の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により有料で修理させていただきます。
  ただし、プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

  注）補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  [技術料] は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  [部品代] は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  [出張料] は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容	
ご氏名	
ご住所	付近の見取図、目印など。
電話番号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番・お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	28、29 ページのモニターランプの表示状態も含め、できるだけ詳しくお願いします。
訪問希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

パナソニックプロジェクターサポートセンター

設定や操作でご不明なことがございましたら
なんなりとお問い合わせください。

お電話の方はこちら　0120-872601　**受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）**
9：00～12：00　13：00～17：00

URL:http://panasonic.biz/projector/

※書面や電話 /FAX でお答えする場合や、返事を差しあげるお時間を頂くこともございます。
※お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

天つり金具取り付け時の注意事項

本製品に天つり金具を取り付けてご使用になる場合は、付属の天つり用落下防止具（ワイヤーロープ）をプロジェクター本体に取り付けてご使用ください。
（安全性には問題ありませんが、ねじが緩んでいた場合に起きる落下などの不慮の事故を防止することができます。）

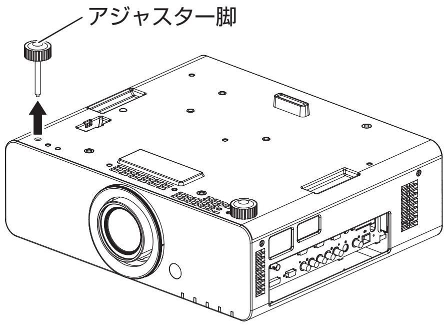
工事は専門技術者に依頼し、下記の取り付け手順に従ってください。

- 当社製以外の天つり金具の使用、ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保障期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ねじ類の締め付けの際は、トルクドライバーなどを使用し、電動ドライバーやインパクトドライバーを使用しないでください。
- ご使用を終了した製品は、工事の専門技術者にご依頼の上、速やかに撤去してください。
- アジャスター脚を取り外して、その取り付けねじ穴をセットの固定に使用しないでください 。
- 盗難防止用フックに落下防止用のワイヤーロープを取り付けたり、つり下げたりしないでください 。
- ワイヤーロープの取り付け工事については、天つり金具の工事説明書を参照ください。

取り付け手順

1）柔らかい布などの上に、プロジェクター本体の底面を上にして置く

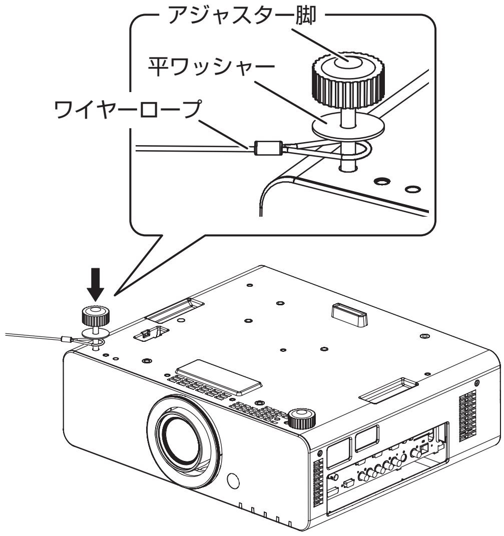
2）アジャスター脚（1本）を反時計方向に回して、本体から取り外す



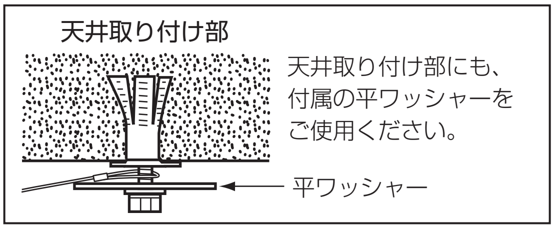
3）アジャスター脚（1 本）に付属の平ワッシャー（1 個）を通す

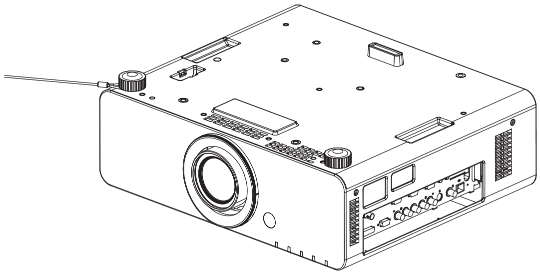
4）アジャスター脚（1 本）に付属のワイヤーロープ（1 本）を通す

5）アジャスター脚を時計方向に回して本体に取り付け、締め付ける



6）アジャスター脚と天井間に、ワイヤーロープ（1 本）をたるみができないように取り付ける





お願い：

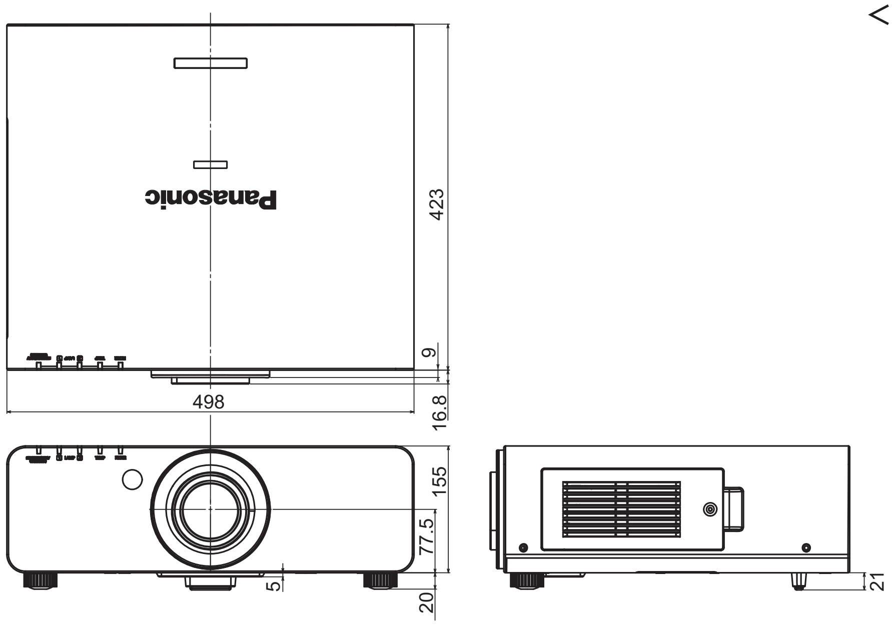
- 必ず付属の平ワッシャー（2 個）とワイヤーロープをご使用ください。

その他

さくいん

外形寸法図

＜単位：mm ＞



※各製品で寸法は異なる場合があります。

愛情点検　長年ご使用のプロジェクターの点検を！

こんな症状はありませんか		ご使用中止	
	● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ● 電源「入」時以外にジージー・パチパチと異常な音がする。 ● 電源スイッチを入れても映像がでない。 ● 映像が連続してチラついたり、ユレたりする。 ● 電源スイッチを切っても、映像が消えない。 ● 内部に水や異物が入った。		故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ　おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　　月　　日	品番	
販 売 店 名	電話（　　　）　－		
お客様ご相談窓口	電話（　　　）　－		

パナソニック株式会社　システムAVビジネスユニット

〒571-8503　大阪府門真市松葉町2番15号　電話 0120-872-601

S0509-4079E
TQBH0210-4